brother



安全にお使いいただくために

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書をご覧になり各機 能や正しい使い方を十分にご理解の上、末永くご愛用ください。

また本書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

警告: 感電を避けるために

1. 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お使いになった後やミシン本体を掃除する前にも、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意: やけど、火災、感電およびけがなどを防ぐために

- 1. お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。
- ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
- 3. 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店、または お客様 Sew[™]談室 (フリーダイヤル0120-332-392)にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 4. ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から5cm以上離してお使いください。 また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
- 5. 換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。
- 6. 屋外での使用は避けてください。
- スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
- 8. 電源を切るには、電源スイッチを〇の位置に合わせ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 9. 電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源 コードをひっぱって抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 10.ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 11.常に正規の針板をご使用ください。針折れの原因となります。
- 12.曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。.
- 13.針の交換など設定を変更するときは、必ず電源スイッチを〇の位置に合わせ、本体の電源スイッチを切ってから行ってください。
- 14.取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感 電の原因となります。
- 15.このミシンはお子様のご使用向けにつくられたものではありませんので、ご使用の際は、充分な管理のもとで行ってください。
- 16.お子様が玩具として遊んでケガをしないよう、十分注意してください。
- 17.キャリッジの近くなど、ミシン本体にある隙間に指を近づけないでください。ケガの原因となります。

取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品はパソコンに接続して使用することができる、最も優れた職業用刺しゅう機です。本製品の性能を充分に楽しんで頂くために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お使いになる前にお読みください。

安全にお使いいただくために

- 1. ミシン操作中は、針から目を離さないでください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンを使用したあと
- · 針や他の部品を交換するとき
- 運転中に停電したとき
- 本製品の整備を行なうとき
- ミシンのそばを離れるとき
- 3. 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となりま す。

末永くご愛用いただくために

- 1. 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシン内部の温度が上がり、ミシン本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。
- ミシン本体を掃除するときは、必ず中性洗剤か中性石鹸をお使いください。ベンジン、シンナー、磨き粉 などは本製品を傷つける原因となりますので、使用しないでください。
- 3. 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[™]談室(フリーダイヤル0120-332-392)にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

修理または調節するときは

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に、本書の「トラブルチェック」(P.194)の項 目を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®]談室 (フリーダイヤル0120-332-392)にご連絡ください。

ブラザー工業のホームページでは、この商品に関する様々な情報を掲載しております。

(URL) http://www.brother.co.jp

ライセンス契約書

重要!: 必ずお読みください

本製品に含まれている刺しゅうデータ(以下、「刺しゅうデータ」)に関する著作権は、ブラザー工業株 式会社(以下、「ブラザー」)もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件 に従い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。 なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされま す。

- ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅう機上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅう を縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅう機上で刺しゅうデータを使用 することはできません。
- 2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。
- ・ バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
- · ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
- ・ 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
- ・ 営利目的で改変すること。
- · ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ(例:©Disney)を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作権 そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。 〒467-8562 名古屋市瑞穂区河岸1丁目1-1 ブラザー工業株式会社 P&Hカンパニー 総合企画部

警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。 警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

| 1 | | | | |
|---|---|--|---|--|
| | 🛦 Atenção | А ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ | ▲ 注意 | ▲ 危险 |
| | O carro de transporte pode causar ferimentos. Não coloque as mãos sobre o trilho do carro de transporte. | Движущаяся каретка может быть причиной травмы. Не кладите руки на пути движения каретки. | 刺しゅう機のキャリッジ や刺しゅう枠が動いてい るときに、手や物を近づ けないでください。 ケガの原因になります。 | 在绣花机的导轨或绣 花框移动时,为避免 造成伤害,请不要将 手或物品靠近. |

2



毎日ご使用になる前に、釜の レース部に1滴注油してくだ さい。



ラベルの場所

取り扱い上の注意

著作権について

ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するもの (「© Disney」等の他社著作権表示が付されているものを除きます)については、これらのデータを用いて縫 製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用(販売・ 譲渡等を含みます)いただけます。

ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、(縫製された刺しゅうではなく)この データ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾いたしません。 また、当社以外の第三者の著作権表示が付されたもの(特に人気キャラクター)については、営利用または

業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。 これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

刺しゅうカード(別売)について

- ・ 分解したり改造しないでください。
- ・ 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
- ・ 水・溶剤類・飲み物など、液体で濡らさないでください。
- ・ 強い静電気、電気的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度
 差の激しい場所、スピーカ等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
- ・ 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- ・刺しゅうカードは、収納ケースに入れて保管してください。
- ・当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当 社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- ・ 一部使用できない刺しゅうカードがあります。ご了承ください。
- ・ 外国で売られている刺しゅうカードは、使用できませんのでご了承ください。
- ・ 刺しゅうカードは、必ず または刺しゅうカードの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。(P.116参照)

USB メディア(市販品)について

- ・ 分解したり改造しないでください。
- ・ 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
- ・ 水・溶剤類・飲み物など、液体で濡らさないでください。
- ・ 強い静電気、電気的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度
 差の激しい場所、スピーカ等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
- ・刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- ・ USBメディア内のデータは、誤操作や事故などで消失・破損することがあります。重要なデータは、バックアップをお勧めします。
- ・ USBメディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能なUSBメディア についての詳細は、ブラザー工業のホームページ(http://www.brother.co.jp)でご確認ください。
- USBメディアは、必ず
 ・
 ・
 USBメディアの交換を指示するメッセージが画面に表示されて
- いる状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。(P.121 参照)
- · USB メディアは、差し込んだ後5秒以上経過してから抜いてください。
- この他、お買い求めの USB メディアに付属の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

●本製品および本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中には®および™等のマークは明記しておりません。

製品のしくみと特長

6本針ミシンの縫製について

このミシンは、それぞれ違う色の糸を通した6本 の針を替えながら自動的に糸色を替え、刺しゅ うをぬいます。

針を上下に動かす機械部分を「針棒」と呼び、それらは針棒ケースに納められています。針棒は右から順に1番針棒、2番針棒、3番針棒、4番針棒、5番針棒、6番針棒と呼びます。



- ①] 番針棒
- 21番の針
- ③ 針棒ケース

どの針にどの糸色をかけるかは、ミシンが自動 的に割り当てます。すでに糸がかけられている 場合は、糸のかけ替えが最小限ですむように、同 じ色糸は現在かけられている針棒に割り当てら れます。したがって、針棒番号順にぬっていくと は限らず、ぬい順に従いミシンが自動的にその 糸色がかけられた針を選びぬっていきます。



● 1番針棒から2番、3番と順にぬうとは限りません。

糸色の針棒への割り当ては、液晶画面上で指示 されます。その指示に従って、糸をかけます。



① このようにかける糸が指示されます。

各針棒番号によって、上糸をかけるときに指定 されている糸立棒、糸調子つまみ、天びん、糸道 があります。



縫製は、6本の針で同時にぬうのではなく、縫製 位置にある1本の針でぬいます。ぬい順に従い、 針棒ケースが左右に動いてその色がかけられた 針棒・針が縫製位置に移動します。



ミシンをスタートすると、自動的に押えが下が り、ぬい始め/ぬい終わりの糸の処理や糸替え (縫製する針を交替)をしながら縫製し、ぬい終 わると止まります。7色以上の糸色が使われてい る模様の場合は、糸こま交換が必要になったと きにミシンは止まり、その指示が表示されます。

1本針ミシンとの違い

■ 6 色以下の刺しゅう模様は糸こま交換不要

1本針ミシンは、糸色が変わるごとに糸こまを交換し、上糸をかけ直す必要がありました。このミシンは、6色以下の刺しゅう模様は糸こま交換も上糸のかけ直しも必要ありませんし、糸替回数が7回以上でも6色以内であれば、前にぬった針に自動的に戻ってぬいます。

■ 自動縫製で縫製時間も短縮

7 色以上の刺しゅう模様の場合の糸こま交換以 外は、ミシンをスタートした後は、押えの上げ下 げやぬい始め/ぬい終わりの糸の処理、糸交換 は、ミシンが自動的に行います。糸替えや糸始末 をミシンがしてくれるので、縫製時間も短くな ります。

■ ぬい始め/ぬい終わりの糸処理不要

ぬい始め/ぬい終わりの余分な糸端が出ないようにぬわれるので、めんどうな糸の始末はしなくてすみます。

■ 縫製位置は枠を移動して決定

1本針ミシンでは、多くの場合、刺しゅう模様を 刺しゅう枠の中心に配置し、縫製したい位置の 中心を刺しゅう枠の中心に合わせて布地に張り、 ぬいました。このミシンでも、この方法で希望す る位置にぬうことはできますが、刺しゅう枠を 移動して縫製位置を決めると、より容易に位置 決めができます。また、位置を気にせずに布地を 枠に張ることができ、枠をミシンにセットした 後でも自由に位置を決めることができます。

その他の特長

■ 見やすく、使いやすい液晶画面

大きなカラー液晶画面を採用、刺しゅう模様の 色確認もより仕上がりに近い状態で確認できま す。また、この画面はタッチパネルになってお り、ここに表示されるキーを押して操作します。



■ 安全設計

ミシンロック機構の採用で、誤操作によるケガ を防ぎます。通常、ミシンはスタートできない (ロックされた)状態になっており、ロック解除 キーを押して、ロックを解除するとミシンをス タートできる状態になります。ミシンロックの 状態は、スタート/ストップスイッチが色を変 えてお知らせします。



■ 内蔵糸色情報の選択

内蔵された糸色情報を見ることができるので、 目的に合った糸色を簡単に選ぶことができます。

| <u>a</u> 1770 | _ 1369 | 占 1176 | 9091 م | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|----|
| 💭 MA POLY | 🛄 MA RAYON | L SULKY | ų. | RA |
| _ 1951 | <u>_</u> 1137 | <u>_</u> 1024 | <u> </u> | |
| 🖵 MA POLY | 🖵 MA RAYON | LJ SULKY | L. | RA |
| _ 1637 | _ 1037 | _ 1037 | _ 5678 | |
| 📮 MA POLY | 📮 MA RAYON | SULKY | Ū. | RA |
| _ 1980 | _ 1068 | <u>_</u> 1187 | _ 5860 | |
| 📮 MA POLY | 📮 MA RAYON | L SULKY | L. | RA |

■糸色情報表示機能採用で、より実際の色に 近い色で表示

他社糸メーカーの糸色と糸番号をミシンに記憶。 その糸ライブラリーから、自由に選んで自分で 色パレットを作ることができます。このパレッ トを使って模様の色を変えれば、お手持ちの色 糸だけでの色糸表示が可能になります。また刺 しゅう模様の表示も、より実際の色に近い色で 表現されます。



■ 自動針穴糸通し装置

自動針穴糸通し装置で簡単に糸を針に通すこと ができます。



■ USB コネクタ(B タイプ)を標準搭載

付属の USB ケーブルでパソコンと接続すれば、 パソコンから模様を呼び出すことができます。



 パソコンと接続するときは、必ず付属のUSB ケーブルを使用してください。

こんなことができます

最大ヨコ300mm×タテ200mmの刺しゅうがで きます。別売の帽子枠を使えば、帽子にも刺しゅう ができます。

■ 内蔵模様の充実

ミシンに内蔵されている文字やワンポイント模様、枠模様のほか、別売の刺しゅうカードを使っ ていろいろなワンポイント模様の刺しゅうがで きます。



■ 刺しゅうの編集

文字や模様を組み合わせたり、文字の配列を変 えたりして自由にアレンジできます。 同じ模様を繰り返してぬうこともできます。



この本の読み方

この本は次のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 ミシンの準備

ミシンの設置のしかたや必要な準備について説 明します。

第2章 使ってみましょう【チュートリアル】 電源を入れるところから、1つの模様をぬい上 げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順 を追って説明します。実際に操作しながら読ん

で、使い方をマスターしましょう。

第3章 その他の基本操作

7色以上の模様をぬう場合など2章とは違う想 定での操作や、針を交換したいときなど状況に 応じた操作を、ケース別に説明します。

必要に応じてお読みください

第4章 縫製設定

縫製設定について説明します。知っておくと便 利な機能です。

第5章 模様の選択/編集/記憶 刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶の しかたについて説明します。

第6章 基本設定とヘルプ機能

ミシンの設定キー、使い方キー、ヘルプキーの 使い方を説明します。ミシンの基本設定の変更 をしたり、画面で操作のしかたなどを調べたり します。

第7章 付録

刺しゅうぬいいろいろなテクニックや、きれい な刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシン のお手入れ、困ったときの対処方法などを紹介 します。

知りたいことを調べるには

■ 本で調べる

タイトルから

各章で説明されている内容を左記で確認し、目 次で調べます。 基本手順は、2章の最初のページにタイトル一覧 があります。右端のマークで該当ページを見つ けることができます。

キーワードから

巻末に索引があります。キーワードを探して、参照ページをご覧ください。

画面から

P.54~62に液晶画面に表示される主な画面の 表示やキーを、一覧でまとめて説明しています。 詳しい説明は参照ページをご覧ください。

状況から

P.63にいろいろな場合を想定し、その対応方法 を示しています。詳しい説明は参照ページをご 覧ください。

■ ミシンで調べる

このミシンにはヘルプ機能があります。

使い方がわからないとき

ミシンの使い方キーを押して、調べます。ミシン の使い方キーの使い方は、P.155をご覧くださ い。

画面上のキーの使い方がわからないとき

ヘルプキーを押して、調べます。ヘルプキーの使い方は、P.157をご覧ください。

目次

| | 安全にお使いいただくために | i |
|---|---|------|
| | ライヤンス契約書 | iii |
| | 警告ラベ ルについて | iv |
| | 取り扱い上の注意 | v |
| | *** ク (水) **** ****************************** | V |
| | 刺しゅうカード(別売)について | V |
| | USBメディア(市販品)について | vi |
| | 製品のしくみと特長 | vii |
| | 6本針ミシンの縫製について | vii |
| | 本針ミシンとの違い | viii |
| | その他の特長 | ix |
| | こんなことができます | X |
| | この本の読み方 | xi |
| | 必ずお読みください | xi |
| | ···································· | xi |
| | 知りたいことを調べるには | xi |
| - | | - |
| | ミシンの準備 | I |
| | 各部の名前とはたらき | |
| | 前面 | 2 |
| | 右側面 · 背面 | |
| | 操作パネル | 3 |
| | 付属品を確認してください | 4 |
| | 付属品 | 4 |
| | 下糸巻き装置と付属品 | 5 |
| | 別売オプション | 6 |
| | ミシンの設置のしかた | |
| | 設置・移動に関する注意 | 7 |
| | 設置に適した場所 | |
| | | 9 |
| | 操作パネルの位置を調整する | |
| | 糸案内を準備する | |
| | 糸立台を準備する | |
| | 台枠をセットする | |
| 2 | 使ってみましょう 【チュートリアル】 | |
| | 使用上の注意 | |
| | 電源に関する注意 | 16 |
| | | |

| 針に関する注意 | 17 |
|-----------|----|
| 正しい針の見分け方 | 17 |
| ボビンに関する注意 | 17 |
| 上糸に関する注意 | 18 |
| 布地に関する注意 | 18 |
| 画面に関する注意 | 18 |
| | |

| 基 | 本手順 | 19 |
|---------|--|----|
| 1. | 下糸をセットする | 20 |
| | ボビンケースを取り出す | 20 |
| | 下糸巻き装置の取り付け | 21 |
| | 電源と接続する | 21 |
| | 下糸を巻く | 22 |
| | ボビンをセットする | 25 |
| | ボビンケースをセットする | 25 |
| 2. | 電源を入れる | 26 |
| | 画面の見方 | 27 |
| | 操作画面の流れ | 28 |
| З. | 模様を選ぶ | 29 |
| | ワンポイント模様を選ぶ | 30 |
| 4. | 模様の編集 | 31 |
| | 経製設定面面に進む | 31 |
| 5 | 経想設定 | 32 |
| С. С | 健認のた | |
| о. | 11上かり1 メーンを唯認 9 る | 33 |
| _ | 住上かりイメージの見方 | |
| 7. | 刺しゆつ枠に巾地を張る | 34 |
| _ | 布地の張り方 | 34 |
| 8. | 刺しゅう枠をミシンにセットする | 36 |
| | 刺しゅう枠のセットのしかた | 36 |
| 9. | 縫製範囲を確認する | 38 |
| | 縫製画面に進む | 38 |
| 10 |). 上糸をセットする | 39 |
| | 針棒と糸色を確認する | 39 |
| | 上糸をかける | 41 |
| | 糸を針穴に通す | 45 |
| 11 | . 刺しゅうをぬう | 47 |
| | ミシンをスタートする | 47 |
| | 途中でミシンをストップするには | 49 |
| 12 | 2. 糸調子を確認する | 50 |
| 13 | 3 刺しゅう枠、布地を外す | 51 |
| | ■ 1, ゅうやの外し方 | 51 |
| | 有地の外し方 | 51 |
| 12 | 1 雷頂を切って終了する | 52 |
| ाका | F. 电小でのうてた了 する | |
| 国 | | 04 |
| | | |
| | 谷回山共迎衣小 | 04 |
| | 候你選扒回回の兄り 横様一覧両面の目方 | 56 |
| | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 50 |
| | ※2000-22073 | |
| | 経製画面の見方 | 61 |
| b | | 63 |
| | 」 していた。 して、 ののして、 ののして、 のののして、 のののして、 のののして、 のののして、 のののして、 のののして、 のののして、 ののののして、 ののののして、 ののののので、 ののののので、 ののののののので、 のののののののののの | 63 |
| | 模様 | 64 |
| | 刺しゅう | 64 |
| | · - · · · | |

| З | その他の基本操作 | 65 |
|---|-------------------------------|-----|
| | 前回電源を切る前の操作の続きをするには | |
| | | |
| | 刺しゅう枠を上手に使うには | 69 |
| | 刺しゅう枠の種類と用途 | |
| | 布地に接着芯を貼る | |
| | 布地の張り方 | |
| | 特大枠、大枠の布地の張り方 | |
| | 刺しゅうシートを使う | |
| | 布地が大きい/小さいときは | 73 |
| | 刺しゅう枠の位置と動きについて | 74 |
| | 思い通りの位置にぬうには | |
| | 角度を調整する | 77 |
| | 7 色以上の模様をぬうときは | |
| | 糸こま交換が必要かどうかを確認するには | |
| | 糸こま交換を指示されたときは | |
| | 糸こま交換表示について | |
| | 簡単な糸こま交換のしかた | |
| | 途中で糸が切れた/下糸がなくなったときは | |
| | 上糸が切れたとき | 83 |
| | 下糸が切れた/なくなったとき | |
| | 始めまたは途中からぬいたいときは | |
| | 停止後、途中からぬうときは | |
| | 糸調子を調整する | |
| | 下糸の調子を調整する | |
| | 上糸の調子を調整する | 90 |
| 4 | 縫製設定 | |
| | 白動止めめい設定 | 02 |
| | | |
| | 800500/ 終わり位直設正 | |
| | 料のに繰り返しぬいを9 つ | |
| | 雄发取向还反汉上 | |
| | | |
| | 火の氷替え時に停止する 悠制前にポーズ位案を指定する | |
| | 確表的に小一へ位置で指定する | |
| | — 「「「」」「作文と | |
| | 于剉虾悴設足 | |
| 5 | 模様の選択/編集/記憶 | 103 |
| | 刺しゅうデータに関する注意 | |
| | 刺しゅう模様を選ぶ | |
| | 基本的な模様の選び方 | |
| | ワンポイント | |
| | 装飾アルファベット | |
| | | |

| | アップリケアルファベット | |
|---|-------------------------|------|
| | 枠模様 | |
| | アルファベット | |
| | ミシンに記憶した刺しゅう模様 | |
| | 刺しゅうカード(別売) | |
| | パソコン (USB) | |
| | USB メディア(市販品) | |
| | 刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面) | |
| | 模様を組み合わせる | 123 |
| | (ほと記) こうとし | 124 |
| | 位置を移動する | 124 |
| | 左右反転する | |
| | 上下反転する | 125 |
| | 大きさを変える | 125 |
| | | |
| | 文字の配列を変更する | |
| | 文字間隔を変更する | |
| | 糸密度を変える(文字・枠模様の一部のみ) | 129 |
| | 1 文字ずつ色を変える | |
| | 模様の色を変える | |
| | 模様を削除する | |
| | 刺しゅう模様全体を編集する(縫製設定画面) | 133 |
| | | 133 |
| | 王と回私 9 @ 繰り返し 増糕をつくろ | 130 |
| | 様り返した1%でしてる 横様の缶を変える | 135 |
| | (保険の)してのため | 136 |
| | 他のロクビの帰来 | 1.00 |
| | 刺しゆつ悍団を記憶9 る | |
| | ミシンに記憶する | |
| | 記憶できないときは | |
| | USB メディア(市販品) | |
| 6 | 基本設定とヘルプ機能 | |
| | 設定キーの使い方 | |
| | 設定画面の見方 | |
| | 画面の明るさを調整する | |
| | ブザー音を設定する | |
| | 言語を切り替える | |
| | 長さの単位を切り替える | |
| | ガイド表示を切り替える | |
| | 糸色表示を切り替える | |
| | 糸色の詳細を表示する | |
| | ユーザーパレットを設定する | |
| | 渡り糸切り/ DST 設定 | |
| | 小ピッチのステッチを削除する | |
| | 糸残り量を設定する | |
| | ミシンの使い方キーの使い方 | |
| | ヘルプキーの使い方 | |

| 付録 | |
|---|------------|
| アップリケぬい | |
| アップリケ模様のぬい方 | 160 |
| 枠模様を使ってアップリケをするには(1) | |
| 枠模様を使ってアップリケをするには(2) | |
| PR-600II 豆知識 | |
| 内蔵模様で糸調子を確認する | |
| 布地のラインに合わせて模様をぬう | |
| 色パレットについて | |
| タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータの色について | |
| きれいな刺しゅうに仕上げるために | |
| 糸 | |
| 接着芯 | |
| 枠張りのテクニック | |
| 布/接着芯の適合表 | |
| 工業用枠(別売)をセットするには | |
| 帽子枠(別売)を使う | |
| 帽子枠と付属品 | |
| 帽子の種類 | |
| 布地に関する注意 | |
| 帽子枠を使うための準備 | |
| 帽子枠のセットのしかた | |
| 台枠の取り付け方 | |
| 刺しゅうデータ作成上の注意 | |
| お手入れ | |
| 画面の汚れの掃除 | |
| 本体表面の掃除 | |
| 釜の掃除 ······························· | |
| 針板まわりの掃除 | |
| ホビンケー人の掃除 | |
| ミンノに注油する | |
| 困ったとき | |
| トラフルチェック機構 | |
| トフノルナエック | |
| 上フーメツセーン | |
| 凹山//兄にくいとさは | |
| +−を押しても欠心しないこさは | 2∪8 ∩1∩ |
| | |
| 平洋 1 惊 | |
| ※ 」 | |

ミシンの準備

箱を開けたら、まずP.4の「付属品を確認してください」をご覧になり、付属品が揃っているか確 認してください。全て揃っていることが確認できたら、ミシンを準備します。 ここでは、ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

| 各部の名前とはたらき | |
|--|---|
| 前面 / 2 操作パネル / 3 | 右側面 · 背面 / 3 |
| 付属品を確認してください | |
| 付属品 / 4 | 下糸巻き装置と付属品 / 5 |
| 別売オプション | 6 |
| ミシンの設置のしかた | 7 |
| 設置・移動に関する注意 / 7 ミシンを据え付ける / 9 糸案内を準備する / 11 台枠をセットする / 12 | 設置に適した場所 / 8 操作パネルの位置を調整する / 10 糸立台を準備する / 12 |

各部の名前とはたらき

ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、名前を覚えておきましょう。

前面



①糸調子つまみ

上糸の糸調子を調整します。

② 針棒ケース

左右に動いて、針を縫製位置に移動します。

③キャリッジ

ここに刺しゅう枠をセットします。 電源を入れたとき、 縫製中などに左右前後に動きます。

④下糸案内

⑤ 釜カバー/釜

ここを開けて、釜にボビンの入ったボビンケースを セットします。

⑥糸案内

- ⑦糸案内支持棒
- ⑧糸立台

糸こまを6本立てます。

- ⑨ 操作パネル
- 10 レベル座

ここで脚の高さを調節します。

- ① 針もとライト
- 12 糸案内ピン
- 1③上糸案内
- 14 中糸案内

右側面・背面



① USB コネクタ(A タイプ)

USB メディア(市販品)を差し込みます。

- ② 刺しゅうカード差し込み口 刺しゅうカード(別売)を差し込みます。
- ③ ブーリー 回すと針が上下に動きます。プーリーは反時計回り に回してください。
- ④USB コネクタ(B タイプ)

刺しゅう模様をコンピュータからミシンへ書き込む とき、USBケーブルの端子を差し込みます。

操作パネル

- ① スタート/ストップスイッチ
 ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、スイッチの状態・色が変わります。
 赤色の点灯:スタート不可能な状態のとき
 緑色の点滅:スタート可能な状態のとき
 緑色の点灯:縫製中
 消灯
 :電源が入っていないとき
- ②糸切りスイッチ

上糸と下糸を切るときに押します。

- ③ 自動針穴糸通しスイッチ
 針に糸を通すときに押します。
- ④ 液晶画面 (タッチパネル)

ここに表示されるキーを押して模様の選択、編集な どをしたり、情報の確認をします。 ミシンの準備

- ⑤ **電源コードジャック** 電源コードを差し込みます。
- ⑥ 電源スイッチ 電源を入れたり (I側) 切ったり (O側) するスイッ チです。
- ⑦換気口

付属品を確認してください

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損している ときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品

このミシンには以下のものが付属されております。付属品は必ずこのミシン専用の付属品を使用してください。



| No. | 部品名 | 部品番号 |
|-----|-----------------------------------|------------|
| 1 | 付属品ケース | XC6482-051 |
| 2 | ミシン針セット(2 セット) | XC6469-001 |
| З | ボビン(6個) | XC6368-051 |
| 4 | 糸こまネット(6 個) | S34455-000 |
| 5 | リッパー | X54243-001 |
| 6 | ししゅうはさみ | XC1807-121 |
| 7 | ピンセット | XC6542-051 |
| 8 | タッチペン | XA9940-001 |
| 9 | 針交換ツール | XC4957-051 |
| 10 | 針板カバー | XC6499-151 |
| 11 | プラスドライバー | XC6543-051 |
| 12 | 小型ドライバー | X55468-051 |
| 13 | 針交換ドライバー | XC5159-051 |
| 14 | Z型ドライバー | XC6545-051 |
| 15 | 針板ドライバー | XC1074-051 |
| 16 | スパナ | XC6159-051 |
| 17 | 油差し | XZ0206-051 |
| 18 | ミシンブラシ | X59476-051 |
| 19 | 下糸おもり | XC5974-151 |
| 20 | USB ケーブル | XD1851-051 |
| 21 | 刺しゅう枠(特大枠) ヨコ 300mm ×タテ 200mm | XC5954-051 |
| 22 | 刺しゅう枠(大枠) ヨコ 180mm ×タテ 130mm | XC5959-051 |
| 23 | 刺しゅう枠(中枠) ヨコ 100mm ×タテ 100mm | XC5964-051 |
| 24 | 刺しゅう枠(小枠) ヨコ 60mm ×タテ 40mm | XC5969-051 |
| 25 | 刺しゅうシート(特大) ヨコ 300mm ×タテ 200mm | XC5704-051 |
| 26 | 刺しゅうシート(大) ヨコ 180mm ×タテ 130mm | XC5721-051 |
| 27 | 刺しゅうシート(中) ヨコ 100mm ×タテ 100mm | XC5759-051 |
| 28 | 刺しゅうシート(小) ヨコ 60mm ×タテ 40mm | XC5761-051 |
| 29 | 取扱説明書 | XD1139-051 |
| 30 | 操作早見表 | XD0765-051 |
| 31 | 糸こまフェルト | XC7134-051 |
| 32 | 糸こま押え(6個) | 130012-054 |
| 33 | 下糸巻き装置と付属品 | XC6290-060 |

下糸巻き装置と付属品



| No. | 部品名 | 部品番号 | No. | 部品名 | 部品番号 |
|------|----------|------------|-------|-------------|------------|
| 33-1 | 下糸巻き装置 | XC6598-051 | 33-6 | 電源コード | X53459-151 |
| 33-2 | 下糸立棒 | XC5949-051 | 33-7 | 金属ボビン(5個) | 100376-053 |
| 33-3 | 糸こまクッション | XA0679-050 | 33-8 | 糸こま押え | 130012-054 |
| 33-4 | 糸案内 | XC6644-051 | 33-9 | 下糸おもり(Lタイプ) | XC5974-151 |
| 33-5 | ACアダプター | XC6643-051 | 33-10 | 下糸おもり(Sタイプ) | XC6631-051 |

ミシンの準備 付属品を

別売オプション

オプション品として、以下の製品を用意しています。



| No. | 部品名 | 部品番号 |
|-----|--------|------------|
| 1 | 帽子枠セット | XC7609-054 |
| 2 | 帽子枠 | XC7610-054 |

淡 お願い

● 外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。



| No. | 部品名 | 部品番号 | |
|-----|-------------|------------|--|
| 1 | ABCのスケッチブック | X57515-101 | |
| 2 | 花に囲まれて暮らす | X57518-001 | |
| З | クリスマス | XA4791-002 | |
| 4 | レース | XA5580-101 | |
| 5 | レースコレクション | XD1208-001 | |
| 6 | ファンシーワーク | XA7787-001 | |
| 7 | ファークアート | XA8366-001 | |
| 8 | ベアコレクション | XA8502-001 | |
| 9 | ガーデニング | XC0804-001 | |

| No. | 部品名 | 部品番号 | | |
|-----|-------------------|------------|--|--|
| 10 | キルトライン | XC0926-001 | | |
| 11 | レッドワーク | XC4240-001 | | |
| 12 | POP MIX | XC4808-001 | | |
| 13 | ホームデココレクション | XC7040-001 | | |
| 14 | クロスステッチコレクション 1 | XC7083-001 | | |
| 15 | クロスステッチコレクション2 | XC7542-001 | | |
| 16 | クロスステッチコレクション3 | XD0153-001 | | |
| 17 | 和模様のコレクション | XD0122-001 | | |
| 18 | オリジナルカード(ブランクカード) | XC0962-001 | | |

🌛 お知らせ

● オプション品・部品については、部品番号をご確認の上、販売店にお問い合わせください。

別売りオプション/ミシンの設置のしかた

ミシンの設置のしかた

ミシン本体を設置します。正しく設置しないと振動や騒音が大きくなったり、刺しゅうがきれいにぬい 上がらないことがあります。別売の専用テーブル(あっせん品)もあります。





設置に適した場所

ミシンは、次のような場所に設置してください。

- ・本体と壁の間に 50mm 以上のすき間をあける
- ・ミシン本体が十分置けるスペースのある場所
- ・刺しゅう枠の稼動範囲には物を置かない
- ・コンセントから直接電源をとれる場所
- ・机の上など、水平で安定した場所
- ・ミシン本体の重さ(約37kg)に耐えられる場所
- ・底面後方の換気口をふさがない







レベル座のナットを、付属のスパナで回

脚は、●の方向に回すと伸び、2の方向





します。

に回すと縮みます。

1)-



ガタつくときは、再度手順3から5を 行い、脚を調整します。

付けます。 ミシンに取り付けられている保護テープや保護材を、すべて取り外してあることを確認します。 設置スペースを確保して、ミシンを設置します。 設置スペースを確保して、ミシンを設置します。

脚を調節し、ガタつかないようにミシン本体を据え

ミシンを据え付ける

250mm以上 512mm

250mm 以上

350mm以上

ガタつかないよう脚を調節します。

調整したい脚のナットを、付属のスパナ でゆるめます。



- ①ナット
- ② レベル座のナット
- ▶ レベル座が回るようになります。



3 向きを調整します。

つまみボルトをゆるめて使いやすい向き にし、つまみボルトを締めます。



① つまみボルト

角度を調整します。

左右のつまみボルトをゆるめて使いやすい 角度にし、つまみボルトを締め付けます。



① つまみボルト

お願い

● つまみボルトをゆるめたり締めたりするときは、 付属の針板ドライバーを使用してください。

ミシンの準備

糸案内を準備する

糸案内を立てます。 付属のプラスドライバーを用意 します。

 プラスドライバーで糸案内支持棒の左の 2本のネジをゆるめ、糸案内を起こしま す。

●のネジは外し、
 ●のネジは3~4回、
 回してゆるめます。



2 糸案内を垂直になるまで起こし、左の② のネジを締めます。●で外した①のネジ で、糸案内支持棒の右から固定します。



3 プラスドライバーで左右の糸案内のネジ をゆるめ、水平になるように糸案内を持 ち上げます。







● 各ネジを締めるときは、糸案内支持棒、糸案内が 固定されるよう、確実に締めてください。

糸立台を準備する

糸立台を縫製位置で固定します。





① つまみボルト
 ② 糸立台

このしていたので開いたら、つまみボルトを 締め付けます。



▶ 糸立台が開いた状態で固定されます。

台枠をセットする

キャリッジに台枠をセットします。





① つまみボルト

2 台枠の穴をXキャリッジのピンに差し 込みます。



Xキャリッジのピン
 2 台枠の穴



① 手順 ① で外したつまみボルトを使用してください。



これで、ミシンの準備は完了しました。

2

使ってみましょう [チュートリアル]

電源を入れるところから、1つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追っ て説明します。実際に操作しながら、使い方をマスターしましょう。

| 使用上の注意 | |
|-----------------|----|
| 基本手順 | |
| 画面早見一覧 | |
| わからないことがあるときの参考 | 63 |

- 下糸をセットする 1
 - 電源を入れる 2
 - 模様を選ぶ 3
 - 模様の編集 4
 - 縫製設定 5
- 仕上がりイメージを確認する 6
 - 刺しゅう枠に布地を張る 7
- 刺しゅう枠をミシンにセットする 8
 - 縫製範囲を確認する 9
 - 上糸をセットする 10
 - 刺しゅうをぬう 11
 - 糸調子を確認する 12
 - 刺しゅう枠、布地を外す 13
 - 電源を切って終了する 14

使用上の注意

このミシンを正しく使っていただくために守っていただきたいポイントを説明します。

電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説明します。



針に関する注意

針を取り扱うときの注意を説明します。以下の注意を守らないと、針が折れて飛び散るなど大変危険で す。よく読んで必ず守ってください。



正しい針の見分け方

針が曲がった状態で使用すると、途中で折れてしまうことがあり非常に危険です。 針の平らな面を平らな板に合わせ、針と板のすき間が平行である針を使用してください。曲がったり、針 先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。(P.67「針を交換する」参照)



ボビンに関する注意

ボビンに関して気をつけなければいけないことを説明します。



上糸に関する注意

上糸に関して気をつけなければいけないことを説明します。



布地に関する注意

布地に関して気をつけなければいけないことを説明します。



淡お願い

- 薄地、伸びる布地などぬいにくい布地には、接着芯を貼ってください。(P.70「布地に接着芯を貼る」参照)
- 大きな布地に刺しゅうするときは、布地がキャリッジに巻き込まれないように注意してください。

画面に関する注意

液晶画面の取り扱いに関する注意を説明します。

お願い

- 画面は指、または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや 硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったり しますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。(P.208 「画 面が見にくいときは」参照)
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性による もので、故障ではありません。約10分で通常の明るさになります。
- 画面を正面以外から見ると、色が変化したり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。

基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。 操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

| 手順 | 操作 | チュートリアル 参照ページ | 使用上の注意 参照ページ |
|----|---|------------------|-----------------|
| 1 | 下糸をセットします。 | P.20 | P.17 |
| 2 | 電源を入れます。 | P.26 | P.16, 18 |
| 3 | 刺しゅう模様を選びます。 | P.29 | |
| 4 | 刺しゅう模様を編集します。 | P.31 | |
| 5 | 縫製のしかたを設定します。 | P.32 | |
| 6 | 仕上がりイメージを確認します。 | P.33 | |
| 7 | 刺しゅう枠に布地を張ります。 | P.34 | P.18 |
| 8 | 刺しゅう枠をセットします。 | P.36 | |
| 9 | 縫製範囲を確認します。 | P.38 | |
| 10 | 上糸をセットします。 | P.39 | P.18 |
| 11 | スタート/ストップスイッチを押し、ぬいます。 (ぬい終わると、自動的にミシンは停止します。) | P.47 | |
| 12 | 糸調子を確認します。 | P.50 | |
| 13 | 刺しゅう枠・布地を外します。 | P.51 | |
| 14 | 電源を切って終了します。 | P.52 | |

例)ワンポイント模様



次のページから、左の模様を例にして各手順を説明します。

ただし、模様の編集や縫製のしかたの設定はしないで進めます。模様の編集は P.123を、縫製のしかたの設定は P.91を参照してください。 P.54~62に、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーの説明を、一覧

でまとめて説明しています。クイックリファレンスとしてご活用ください。

P.16~18に、基本操作に関する使用上の注意をまとめて記載してあります。ミシンを正しく使っていただくための重要な注意事項です。必ず読んでください。
使ってみましょう

1. 下糸をセットする

購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。ボビンに関する注意については、P.17を参照してください。



1

下糸をセットする

11



21

下糸を巻く

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。下糸は、 綿またはポリエステル糸(#90~120)を使用し てください。



1 ボビンのミゾを下糸巻き台のバネに合わせ、ボビンを取り付けます。



1 ボビンのミゾ
 2 下糸巻き台のバネ



1) 糸こま
 2) 下糸立棒



④ 図のように、糸を調子皿に巻きつけます。 糸が調子皿にきちんとかかっていること を確認します。



①調子皿



糸案内の右の穴に、手前から後方に向 かって糸を通します。 1P 6



①糸案内の穴





下糸巻き台の案内ミゾに糸の端を通して 渡し、糸を引きます。カッターが糸を切 ります。



が折れることがあります。 8 ボビン押えをカチッと音がするまでスラ イドさせます。 ① ボビン押え 電源スイッチを押し、下糸を巻きます。

お願い

▶ 下糸を巻き始めます。



1 注意

 下糸がボビンにきちんと巻かれたことを 確認してください。正しく巻かれていな いボビンを使うと、針が折れたり糸調子 がおかしくなったりする原因となります。



- ボビンを交換するときは、毎回必ずボビン ケースを掃除してください。ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲に、糸のワックスやゴミがたまると、糸調子不良の原因となります。掃除のしかたは、P.193「ボビンケースの掃除」を参照してください。
- ボビンを交換するときは、毎回必ず糸調子 を確認してください。金属ボビンを使用す る場合は、下糸おもりのLタイプ(部品番号: XC5974-151)とSタイプ(部品番号: XC6631-051)の両方を使って確認してく ださい。下糸の調整のしかたは、P.89「下 糸の調子を調整する」を参照してください。



巻いている途中で止まってしまったら 糸立棒に絡むなどして糸が送られなくなると、下 糸巻き装置は自動的に止まります。このようなと きは、糸を正しくかけ直して巻き直してください。





画面の見方

電源スイッチを入れ、 **0** を押すと、模様選択画面が表示されます。ここからは、操作パネル上での操作 に入ります。液晶画面の取り扱いに関する注意は、P.18 を参照してください。

次回から、電源スイッチを入れて表示される画面は、前回電源スイッチを切ったときの終了のしかたによって異なります。(P.66参照)



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|----|----------|---------------|---|-------|
| 1 | | 設定キー | ミシンの設定を変更するときに押します。 | P.144 |
| 2 | | ミシンの 使い方キー | 使い方を確認するときに押します。 | P.155 |
| 3 | 新規 作成 | 新規作成 キー | 今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るとき に押します。 | |
| 4 | P | ヘルプキー | 操作方法が分からないときなど、困ったときに押すと、解 決方法を調べることができます。 | P.157 |
| 5 | | 模様表示 エリア | 選択した模様が表示されます。⑥は特大枠の縫製範囲を示 します。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他のディ スプレイの設定はミシンの設定画面で設定できます。 | P.147 |

※ ここで説明している設定キー以外のキーは、これから説明する画面で常に表示され、その機能を使うこと ができます。設定キーは、縫製画面では使うことができません。

操作画面の流れ

基本的な操作画面の流れは次のとおりです。

| 4的な操作画面の流れは次のとおりです。 | |
|---|---|
| | し 保保度が回面と、保保の程度を選びます。(P.29,55参照) |
| | 編集画面 に進みます。 模様を選んでいないときは、押すことはで きません。 |
| ● 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | 2 模様一覧画面 で、模様を選びます。 (P.29, 56参照) |
| | 模様選択画面 に戻ります。 |
| | ―――― 編集画面 に進みます。 |
| である。 新規 () (1 24 mm) 注 10 finn ① 23 2 mm () 10° (の) | 3 編集画面で、個々の模様の編集をしま す。(P31 57参昭) |
| (*)成 (*)(1)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2) | 模様選択画面 に戻り、模様を追加できます。 |
| | |
| E | |
| | |
| | |
| | 経験画面で、針棒にかける糸色を確認し、上糸をかけます。 ロック解除キー(|
| ● ⁻ | 状態になります。縫製が終わると、 縫 製画面 に戻ります。(P.39, 61 参照) |
| | |

3. 模様を選ぶ

ここでは、内蔵ワンポイント模様の最終ページの模様を選びます。

模様選択画面で模様のカテゴリー(種類)を選びます。

模様選択画面(画面の見方は P.55 参照)



① カテゴリーキー

模様一覧画面で目的の模様を探し、模様を選びます。

模様一覧画面(画面の見方は P.56 参照)



① 模様キー

② 仕上がりイメージを確認するときに押します。



4. 模様の編集

模様一覧画面で (セット) を押すと、編集画面が表示されます。この画面で模様を編集することができます。

編集画面(画面の見方は P.57 参照) 1 2 3 4 0° 5-0.0 mm 0.0 mm ‡ ↔ 23,2 mm 36,3 mm じ自 \$ +++ Q P 削除 4 R, **1** 追加 ← 大きさ 回転 9<u>0</u> ¥ 🖌 Ľ × どの模様 どの模様 **1**4:::: 編集終了 \bigcirc (5) ① 選んだ模様をぬうことができる刺しゅう ⑤次の画面に進むときに押します。 枠を示します。 ① 什上がりイメージを確認するときに押し ② 選んだ模様の大きさを示します。 ます。 上段が縦の長さ、下段が横の長さです。 ⑦ 編集する場合はこれらのキーを使います。

このチュートリアルでは、模様の編集は行いません。編集操作は何もしないで、次の画面に進みます。



③選んだ模様の色替え数を示します。 ④ まちがえて模様を選んでしまった場合な ど、模様を削除したいときに押します。模 様が何も選ばれていない状態になると、

模様選択画面に戻ります。

お知らせ ● 編集画面で操作を中断し電源を切っても、次に電 源を入れたときに引き続き操作をすることができ ます。その場合は電源を入れたとき、前回の続き の操作をするか、新しく操作を始めるかを尋ねて きます。(P.66 「前回電源を切る前の操作の続き をするには | 参照)

-6)

5. 縫製設定

編集画面で () を押すと、縫製設定画面が表示されます。この画面で模様全体の編集と縫製のしかたを設定をすることができます。また、縫製位置の確認、模様の記憶も、この画面で行います。

縫製設定画面(画面の見方は P.59 参照)



このチュートリアルでは、縫製設定は行いません。次の手順に進みます。





6. 仕上がりイメージを確認する

模様の仕上がりイメージを、よりぬい上がりに近い画像で確認します。

仕上がりイメージの見方

希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたとき のイメージで見てみます。

💮 を押します。



▶ イメージが表示されます。



- 押すと、各々の大きさの刺しゅう枠で表示されます。グレーで白抜きに表示されている刺しゅう枠は選ぶことはできません。
- ② 押すと、模様を拡大して見ることができます。





● 編集画面でもイメージを確認することができます。

7. 刺しゅう枠に布地を張る

ぬう模様が決まったら、使用可能な刺しゅう枠を確認し、その枠に布地を張ります。 刺しゅう枠に布地を張る前に、薄い布地や伸びる布地は刺しゅう芯を貼っておいてください(P.70「布 地に接着芯を貼る」参照)。布地に関する注意については、P.18を参照してください。



用できない刺しゅう枠は薄く(<u></u>) されます。

■ 刺しゅう枠の種類

4 種類の大きさの刺しゅう枠が同梱されていま す。それぞれの用途については、P.69「刺しゅ う枠を上手に使うには」を参照してください。

| 画面表示 | 名称 | 縫製範囲 |
|------|-----|-------------------------------------|
| + | 特大枠 | ヨコ × タテ 300mm [×] 200mm |
| + | 大枠 | ヨコ × タテ 180mm 130mm |
| Q | 中枠 | ヨコ × タテ 100mm × 100mm |
| 0 | 小枠 | ヨコ _× タテ 60mm 40mm |



● 誤った大きさの刺しゅう枠を 使用すると、刺しゅう枠が押 えに当たり、ケガ・故障の原 因となります。

※ お願い

● ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠が全て表示されますが、できるだけ刺しゅう模様の大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。(P.69「刺しゅう枠を上手に使うには」参照)

7 刺しゅう枠に布地を張る



■ 小枠に布地を張る

ここでは、小枠に布地を張ります。

6 調節ネジをしっかりと締め、布にたるみ のないことを確認します。



- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太 鼓のような音がするくらいが目安です。
- 内枠の下部が外枠より下がるように、で きるだけしっかりとはめてください。



● 調節ネジは付属の針板ドライバーで、 しっかりと締め付けることもできます。



① 針板ドライバー

布地の種類によって、その布地に適した張り方 や刺しゅう芯の使い方があります。ちょっとし た工夫が、刺しゅうをきれいに仕上げます。いろ いろ試してみましょう。(P.170「枠張りのテク

● このミシンは、別売の帽子枠も使用できます。 (P.173「帽子枠(別売)を使う」参照)

使ってみましょう -



刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットします。



刺しゅう枠のセットのしかた

セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わせてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、小枠を セットします。





37



▶ 縫製画面が表示されます。

使ってみましょう

10. 上糸をセットする

縫製画面で、何番の針棒にどの糸色を通すか確認し、上糸を通します。

針棒と糸色を確認する

縫製設定画面で () を押すと、縫製画面が表示され、上糸をセットする (次回からは糸こまを交換する) ように指示画面が表示されます。ここで、糸色を確認します。

縫製画面(画面の見方は P.61 参照)



- ① 1 番針棒の糸替え表示
- ②2番針棒の糸替え表示
- ③3番針棒の糸替え表示
- ④4番針棒の糸替え表示
- ⑤ 5 番針棒の糸替え表示
- ⑥ 6 番針棒の糸替え表示
- ⑦ 糸こま交換指示画面(P.81 参照)
 この画面が表示されたときは、糸こま交換が

| 必要です。 | 閉じる | ⑧を押してこの画面を閉 |
|-------|-----|-------------|
| じないと、 | 縫製に | 進むことはできません。 |

各針棒番号の横に示されている糸色名の糸を、その 番号の針棒にかけます。ここでは、 1番針棒にキミドリ 2番針棒にモスグリーン 3番針棒にオレンジ 4番針棒にアカ 5番針棒にキイロ の糸をかけます。 閉じるを押します。

▶ 現在の糸色割り当てがミシンに記憶され、糸こま交換指示画面が閉じます。

● 縫製画面では糸色の確認の他に、総針数や時間などの確認や、縫製に関する設定ができます。



- ①糸色のぬい順を示します。
- ② 左のぬい順表示の糸色が割り当てられている 針棒番号を示します。
- ③ 色替え数、針数、縫製時間、次の糸こま交換ま での時間を示します。
- ④ 押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸を通すときに使います。
- ⑤ 縫製に関する設定をする場合や縫製設定画面 に戻る場合に使います。
- ⑥ ミシンをスタートするとき、このキーを押してミシンロックを解除してから、スタート/ストップスイッチを押します。



上糸をかける 刺しゅう用の糸を使用し、1番針棒から順に糸をかけていきます。 ~ (3ページへ) → 🚱 の順にキーを押すと、上糸かけの手順を動画で見るこ 20 基本操作 とができます。(P.155参照) 注意 使ってみましょう ● 上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場 合、糸が切れたり、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれがありま す。 • お知らせ お願い 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステ ル糸(den 120 x 2、#50)を使用してくだ ● 上糸を通す順番は、ミシン本体に線(−)で示さ れています。そちらも併せて見てください。 さい。



番号は、その針棒番号の糸が通る場所を示しています。まちがえないように注意して糸をかけてください。







- 糸立台が V 字になっていることを確認してください。
- ●小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に 糸こまを立てる前に、糸立棒に付属の糸 こまフェルトを取り付けてください。
- ●糸立棒より低い糸こまを使用する場合、 付属の糸こま押えを取り付けてください。





●両つば付きの糸こまを使用する場合、糸 立棒に糸こまを立てた後に、糸こまの上 から糸立棒に付属の糸こま押えを取り付 けてください。



- 1) 糸こま押え
 ② 両つば付きの糸こま
- 2 糸こまの真上の糸案内の1番の穴に通し、手前の糸案内の1番の穴に通します。







 3 1番の糸道上の穴に通します。 糸案内側から手前に糸を通します。



① 糸道上の穴

4 1番の糸道上に通します。

糸を両手で持ち、右から金具の下側に糸 を通します。





- 使ってみましょう
- 5 1番の回転調子皿に右回りに1回巻きつ けます。



①回転調子皿

● 糸が回転調子皿にきちんとかかっている ことを確認してください。

お願い

● 回転調子皿には、糸を時計回りに巻きつけてくだ さい。



6 ミシン本体に示されている糸道に沿って 糸を通し、1番の糸道中に通します。



1 糸道中
 2 糸案内ピン

● 手順 ④ から ⑤ の糸道上から回転調子皿 に巻き付け、糸道中までの糸の通り道は 番号によって違います。糸案内ピンの左 右を通すことで、糸が絡まないように設 計されています。図に従ってそれぞれの 糸を通してください。

7 1番のミゾにそって糸を通し、1番の天びんの穴へ右から通します。



①天びん

8 糸案内ミゾに沿って糸を通し、1番の糸 道下の穴に糸を通します。



糸道下の穴

9 付属の針交換ツールを使って、1番の針 棒糸かけに糸をかけます。



① 針棒糸かけ
 ② 針交換ツール



せん。その場合は、針棒を移動します。(P.46参照)

糸を15cmほど引き出します。図のよう に、糸を右側から自動針穴糸通し装置の ふたまた部を通して、針穴から出ている フックにひっかけます。



② ふたまた部







① 押えの糸かけ ② 押えの糸かけの溝

● 押えの糸かけの溝に、確実に糸がかかっ ていることを確認してください。





①糸切り糸かけの溝



10

上糸をセットする



- ワイパーが出て、針と糸通しの間の糸を つかみます。
- 糸通しが元の位置に戻ります。
- これで、1番針棒の上糸がセットできました。

同様に、残りの針棒に上糸をセットします。ただし、 糸通しをする針棒が縫製位置にきていないと、自動 針穴糸通し装置で糸を通すことはできません。2番 針棒からは、次の手順で糸を針穴に通す前に、針棒 を縫製位置に移動してください。

■ 糸通しをする針棒を縫製位置に移動する

針に糸を通したい針棒の番号を押します。



▶ 針棒が縫製位置に移動します。



● 糸だるみがあると、回転調子皿から糸が外れていることがあります。糸をかけ終わったら、回転調子皿にきちんと糸がかかっているか、再度確認してください。(P.43 手順 5 参照)



●上糸の1色を変える場合、現在かかっている糸を 糸こまと糸案内の間で切ると、簡単に糸をかけ直 すことができます。糸立棒に新しい糸こまをセッ トし、新しい糸の端と前の糸の端を結びます。そ して、針の方向に糸を引きます。(P.82参照)

■ 糸こまネットを使う

金属製の糸やその他強い糸を使用する場合、ぬい始める前に、糸こまに付属の糸こまネットを取り付けてください。糸こまネットが長すぎるときは、糸こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合わせて折り曲げてください。また、糸こまネットを使用するときは、糸調子を調整する必要がある場合があります。



1) 糸こまネット
 2) 糸こま

11. 刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。

ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、ぬい始め・ぬい終わりの糸の処理や糸替えをしなが ら縫製し、ぬい終わると止まります。



■ ミシンロック機構について

安全のため、このミシンはミシンロック機構が採用されています。 通常、ミシンはスタートできない(ロックされた)状態になっています。ロックを解除しないと、ミシン をスタートすることができません。ロック解除の状態は1回の操作につき約10秒間で、その間にミシン がスタートされなかった場合は自動的にロック状態に戻ります。 ロック状態かロック解除状態かは、スタート/ストップスイッチで見分けることができます。赤色の点灯

はロック状態を、緑色の点滅はロック解除状態をそれぞれ示しています。



- 画面は、次のように表示されます。 (1) 新規 作成 全 で の 算 24mm 37mm 8 IP 3nin (1) (1) (1) 6 *モドリ *モドリ #モスグリー 2 5 村口 ۵ れいジ 4 7九 3 एउटाह 📑 📑 æ. ð 停止予約 罐製 キャンセル ∕∖∖ - 👧 + 🗟 🕅 /-/+
- 糸情報が赤い枠で囲まれ、その針棒で縫 製していることを示します。
- 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十 マークが現在ぬっているぬい目を示しま す。また、針数、時間はカウントされてい きます。
- 3 1 色目がぬい終わると、自動的に止まっ て糸を切ります。針棒を移動して、2 色 目をぬい始めます。



● 画面のぬい順表示が2色目に進み、2番針棒の糸替表示が赤い枠で囲まれます。

④ 同様に最後の色までぬい、ぬい終わると 自動的に止まります。

- 画面は、その模様をぬう前の縫製設定画面に 戻ります。
- スタート/ストップスイッチは、赤色の点灯 に変わります。
- ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必 要ありません。

もう1度同じ模様をぬいたい場合は、(羅製)を押 します。 前期 (100 mm) → 10 mm
前期 (100 mm) → 10 →k+ 0.0 mm 総了 K 1 7 回転 ←

 編集 縁の返し ph. R 🔶 🔊 04:::: æ. () \triangle - 500 + 50 + 維製 ことができます。 新しい模様を選びたい場合は、 終了 または ^{新規} を押します。 ‡ 0,0mm © 0 ↔ 0,0mm ≜ 5 -0.0mm →k+ 0.0mm DP 終了 下 个 7 回転 ← …… → 編集 縁の返し ¥ ¥ 3 ₿{## æ. ⚠ - 📷 + 🚽 🚛 維製 模様選択画面が表示されます。

■ 続けて刺しゅうをするときは



- 模様のぬい始めや色替え後のぬい始め、糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。(P.92「自動止めぬい設定」参照)
- ぬっている最中でも、縫製スピードを変えることができます。(P.95「縫製最高速度設定」参照)



12. 糸調子を確認する

正しい糸調子で仕上がっているか、刺しゅうを見てみましょう。糸調子が正しく調整されていないと、 ぬい目がきたなくなったり布地にしわがよったりします。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、下糸がぬい目の幅の3分の1程 度見えるくらいです。



次のように仕上がっていたら、糸調子不良です。 正しい糸調子に調整してください。



上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



糸調子ダイヤルを反時計回りに回し、弱くしま す。



上糸が弱すぎて、上糸がたるみ糸の締まりがゆ るくなったり、表側に糸のループができていま す。



糸調子ダイヤルを時計回りに回し、強くします。

糸調子の調整は、P.89「糸調子を調整する」を 参照してください。



- このチュートリアルでは、ぬい上がった刺しゅう で糸調子を確認しましたが、通常は各針棒の最初 にぬわれる色部分が100針ほどぬい上がった時 点で、一時停止して確認してください。
- 布地の種類や厚さ、芯の種類などによっては、きれいに仕上がらないことがあります。本番の前に、ためしぬいをして確認してください。

お知らせ

● 内蔵ワンポイント模様の中に、糸調子確認用の模様があります。詳しくは、P.164「内蔵模様で糸調子を確認する」を参照してください。

使ってみましょう

4 糸調子を確認する/刺しゅう枠、布地を外す 12 13

13. 刺しゅう枠、布地を外す ぬい終わったら、刺しゅう枠を外し、布地を刺しゅう枠から外します。 刺しゅう枠の外し方



刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち 上げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外 します。



そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



布地の外し方

1 調節ネジをゆるめます。



調節ネジをドライバーで締め付けた場合は、ドライバーでゆるめます。







● 運転中に停電が発生したときは、電源スイッチを 切ってから電源プラグを抜いてください。再度ミシンを動かす場合は、手順に従って正しく操作してください。(P.26「電源を入れる」参照)





画面早見一覧

各画面の表示やキーの説明を一覧にしてします。

キー表示について

キーの色は、次の意味を表しています。

△ (通常カラー表示): 選ばれていません。(選ぶことができます。)

↓ (濃いカラー表示): このキーは選ばれています。

- 🗧 🛛 (グレー表示) 👘 : このキーは選ぶことができません。

各画面共通表示

ここで説明する設定キー以外のキーは、各画面で表示され、いつでも使うことができます。設定キーは、縫 製画面では使うことができません。



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|----|----------|---------------|---|-------|
| 1 | | 設定キー | ミシンの設定を変更するときに押します。 | P.144 |
| 2 | | ミシンの 使い方キー | 使い方を確認するときに押します。 | P.155 |
| 3 | 新規 作成 | 新規作成 キー | 今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るとき に押します。 | |
| 4 | P | ヘルプキー | 操作方法が分からないときなど、困ったときに押すと、解 決方法を調べることができます。 | P.157 |
| 5 | | 模様表示 エリア | 選択した模様が表示されます。⑥は特大枠の縫製範囲を示 します。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他のディ スプレイの設定はミシンの設定画面で設定できます。 | P.147 |

模様選択画面の見方

「模様選択画面」で、模様の種類を選びます。模様の種類は、内蔵模様(①~⑥)と外部から取り込む模様(⑦ ~ (10)があります。



| 番号 | 画面表示 | 名称 | | 説明 | 参照ページ |
|-----|-------------------------|----------------------|--------------------|---|-------|
| 1 | × | 内蔵 | ワンポイント 模様キー | 内蔵されている絵柄の刺しゅう模様が選べます。 | P.108 |
| 2 | $\bigcirc \Box \oslash$ | | 枠模様キー | ○型や□型など10種類の枠型に12種類のステッチを組み合わせて選ぶことができます。 | P.112 |
| 3 | AA. | | アルファ ベットキー | 13書体あり、大文字、小文字、数字、記号、欧文 文字をそれぞれ大・中・小の大きさから選ぶことが できます。 | P.113 |
| 4 | AB | 模 様 | 装飾アルファ ベットキー | 1 辺 50mm の正方形にルネッサンス調にデザイン したアルファベット模様です。 | P.109 |
| 5 | ABC | | 花アルファ ベットキー | 大文字は約タテ 130mm、ヨコ80mmの大型アル ファベット文字に花をあしらってデザインしたアル ファベット模様です。 | P.110 |
| 6 | AB | | アップリケアル ファベットキー | アルファベットのアップリケ模様です。大・中・小 の大きさから選ぶことができます。 | P.111 |
| 7 | | ミシンに記憶した 刺しゅう模様キー | | ミシンに記憶した模様を呼び出します。 | P.115 |
| 8 | | 刺しゅうカード キー | | 刺しゅうカードから模様を呼び出します。 | P.116 |
| 9 | ¢ | USB メディアキー | | USB メディアから模様を呼び出します。 | P.121 |
| 10 | | パソコン (USB) キー | | 付属のUSBケーブルでパソコンとミシンを接続し、 パソコンから模様をミシンに転送して呼び出します。 | P.118 |
| (1) | 編集 | 編集キー | | 模様を追加するために模様選択画面に戻ったとき に、追加をやめる場合に押します。編集画面に進み します。模様を選んでいないときは、押すことはで きません。 | P.31 |
模様一覧画面の見方

「模様一覧画面」で、模様(模様データ)を選びます。模様によっては、模様表示エリアに表示したあとに大き さの変更、左右反転、上下反転させることができます。



| 番号 | 画面表示 | 名 称 | 説明 | 参照ページ |
|----|-------------------------|--------------|--|-------|
| 1 | ‡ 125 _. 9 mm | 大きさ(縦) | 模様キーを押して選んだ模様の縦の長さを示しています。 | |
| 2 | ↔ 78.6mm | 大きさ(横) | 模様キーを押して選んだ模様の横の長さを示しています。 | |
| 3 | ₿ 6 | 色替え数 | 模様キーを押して選んだ模様の色替え数を示します。 | |
| 4 | <u>P. 1</u> P. 3 | ページ | 現在開いているページナンバーと総ページ数を示します。 | |
| 5 | T | 次のページ ヘキー | 押すと、次のページが表示されます。最後のページの場合は、1ページが表示されます。 | P.106 |
| 6 | Ð | 前のページ ヘキー | 押すと、前のページが表示されます。最初のページの場合 は、最後のページが表示されます。 | P.106 |
| 7 | - any | 模様キー | 模様の絵柄がキーに表示されます。このキーを押して、模様を選びます。 | P.106 |
| 8 | キャンセル | キャンセル キー | 現在選んでいる模様のカテゴリーをやめて、他のカテゴ リーを選び直す場合に押します。模様選択画面に戻ります。 | P.106 |
| 9 | 大中小 | 大きさキー | 模様キーを押して選んだ模様の大きさを選ぶことができま す。 | P.107 |
| 10 | | 左右反転 キー | 模様キーを押して選んだ模様を左右反転することができま す。 | P.107 |
| 11 | 7 | 上下反転 キー | 模様キーを押して選んだ模様を上下反転することができま す。 | P.107 |
| 12 | | イメージ キー | 模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見る ことができます。 | P.33 |
| 13 | セット | セットキー | 模様を選んだら押します。模様の選択を確定して、編集画 面に進みます。 | P.106 |

※ ⑨、⑩、⑪は、模様によっては編集できるものとできないものがあります。

編集画面の見方

「編集画面」で、模様を個別に編集します。(ここでは模様全体を編集することはできません。) 模様表示エリアに表示され、選択されている模様の配置、大きさの変更、左右回転、上下反転、文字間隔の変更、配列の調整、配色の変更等を編集することができます。また、複数の模様を選択して模様を組み合わせることができます。



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|----|--------------------|----------------|--|-------|
| 1 | | 使用可能枠 表示 | 模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる 刺しゅう枠を示します。 | P.34 |
| 2 | ∎⊉126mm ⇔ 227mm | 大きさ | 模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。 上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせ ている場合は、全ての模様を含む全体の大きさを示してい ます。 | |
| 3 | ‡ 0,0 mm | 中心からの 距離(縦) | 編集対象となっている模様移動したときの縦の移動距離を 示します。 | P.124 |
| 4 | ↔ -60 <u>.</u> 5mm | 中心からの 距離(横) | 編集対象となっている模様移動したときの横の移動距離を 示します。 | P.124 |
| 5 | \$125 <u>9</u> mm | 大きさ(縦) | 編集対象となっている模様の縦の長さを示しています。 | |
| 6 | ↔ 78.6mm | 大きさ(横) | 編集対象となっている模様の横の長さを示しています。 | |
| 7 | ් 0° | 回転角度 | 編集対象となっている模様を回転したときの回転角度を示 します。 | P.126 |
| 8 | 6 | 色替え数 | 編集対象となっている模様の色替え数を示します。 | |

画面早見一覧



| 番号 | 画面表示 | 名 称 | 説明 | 参照ページ |
|------|-------------|------------|--|-----------|
| 1 | どの模様 どの模様 | 模様選択 キー | 複数の模様を組み合わせている場合に、編集する模様の対 象を変えることができます。 | P.124 |
| 2 | | 移動キー | 矢印の方向に編集対象となっている模様のぬう位置を移動 することができます。(🛃 を押すと、ぬう位置が刺しゅう 範囲の中心に戻ります。) | P.124 |
| 3 | | 左右反転 キー | 編集対象となっている模様を左右に反転することができま す。 | P.125 |
| 4 | _ ↓ □ | 上下反転 キー | 編集対象となっている模様を上下に反転することができま す。 | P.125 |
| 5 | 大きさ | 大きさキー | 編集対象となっている模様の大きさを変えることができま す。 | P.125 |
| 6 | 回転 | 回転キー | 編集対象となっている模様を回転することができます。 | P.126 |
| 7 | 文字間 | 文字間キー | 編集対象となっているアルファベット模様の間隔を変える ことができます。 | P.128 |
| 8 | 配列 | 配列キー | 編集対象となっているアルファベット模様の配列を変更す ることができます。 | P.115,127 |
| 9 | 色替え | 色替えキー | アルファベット模様を1文字ずつ色を変えることができま す。アルファベット模様を選んでいる場合のみ使えます。 | P.130 |
| 10 | 糸密度 | 糸密度キー | 編集対象となっている模様の密度を変えることができます。 アルファベットと枠模様を選んでいる場合のみ使えます。 | P.129 |
| 11 | | 配色キー | 模様の色を変えることができます。 | P.131 |
| 12 | 削除 | 削除キー | 模様を削除します。押すと、編集対象となっている模様が 削除されます。 | P.132 |
| 13 | 追加 | 追加キー | 模様を追加します。押すと、模様選択画面が表示されます。 | P.123 |
| (14) | | イメージ キー | 模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見る ことができます。 | P.33 |
| (15) | 編集終了 | 編集終了 キー | 編集が終了したら押します。次の縫製設定画面に進みます。 | P.31 |

縫製設定画面の見方

「縫製設定画面」で、模様全体を編集します。(ここでは模様を個別に編集することはできません。)模様表示 エリアに表示されている模様全体の配置、回転角度、刺しゅうするときの繰り返し回数、配色の変更等を編 集することができます。また、模様表示エリアに表示されているデザインを記憶することができます。



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|----|------------------------|----------------|--|-----------|
| 1 | | 使用可能枠 表示 | 模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる 刺しゅう枠を示します。 | P.34 |
| 2 | ● 126 mm ↔ 227 mm | 大きさ | 模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。 上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせ ている場合は、全ての模様を含む全体の大きさを示してい ます。 | |
| 3 | ‡ 0 <u>.</u> 0 mm | 中心からの 距離(縦) | 枠移動したときの縦の移動距離を示します。 | P.76 |
| 4 | ↔ 13.7mm | 中心からの 距離(横) | 枠移動したときの横の移動距離を示します。 | P.76 |
| 5 | Ŭ 0° | 回転角度 | 模様全体を回転したときの回転角度を示します。 | P.77, 133 |
| 6 | ₿ 8 | 色替え数 | 模様全体の色替え数を示します。 | |
| 7 | ¥ 0.0mm | 繰り返し 間隔(縦) | 模様の繰り返しぬい設定をしたときに設定した、模様と模 様の間の縦の大きさを示します。 | P.135 |
| 8 | →l k- 0.0mm | 繰り返し 間隔 (横) | 模様の繰り返しぬい設定をしたときに設定した、模様と模 様の間の横の大きさを示します。 | P.135 |

使ってみましょう -



| | 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|------|------|---|--------------------|--|------------|
| 編集機能 | 1 | 回転 | 回転キー | 複数の模様を組み合わせている場合は、模様全 体を回転することができます。 | P.77, 126 |
| | 2 | 繰り返し | 繰り返しキー | 模様を繰り返してぬうことができます。 | P.134 |
| | 3 | | 配色キー | 模様の色を変えることができます。 | P.131, 135 |
| | 4 | K. ★. | 枠移動キー | ぬう位置を調整できます。押すと、矢印の方向 に枠が移動します。(≧ を押すと、枠の中心が 模様の中心に戻ります。) | P.76 |
| 絳 | 5 | • | 止めぬい (ぬい始め)キー | 模様のぬい始めと糸替え後のぬい始めに、自動 止めぬいの設定ができます。 | P.92 |
| は製設定 | 6 | | 止めぬい (ぬい終わり)キー | 糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。 | P.92 |
| | 7 | - 600 + | 縫製最高速度 設定キー | 縫製最高速度を設定することができます。 | P.95 |
| | 8 | | ぬい始め/終わ り位置設定キー | ぬい始めとぬい終わりの針位置を設定すること ができます。 | P.93 |
| | 9 | +]] | ためしキー | 押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確 認することができます。 | P.38 |
| | 10 | 終了 | 終了キー | 今までの作業は取り消し、最初の模様選択画面 に戻るときに押します。 | |
| | 1 | 編集 | 編集キー | 押すと、編集画面に戻ります。 | |
| | (12) | | 記憶キー | 模様を記憶することができます。 | P.140, 142 |
| | (13) | | イメージキー | 押すと、模様のイメージ画像が表示され、仕上 がりイメージを見ることができます。 | P.33 |
| | 14) | 縫製 | 縫製キー | 縫製設定画面での操作が終わったら、押します。 次の縫製画面に進みます。 | P.38 |
| | (15) | | ロック解除キー | 約10秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、 スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。 | P.47 |

※ ③ 配色キー、 ③ イメージキーは、編集画面、縫製設定画面の両方の画面にあり、どちらの画面でも機能・ 操作のしかたは同じです。

縫製画面の見方

「縫製画面」で、糸色や針数、ぬい順を確認します。また、一時的針棒設定や、ぬい目を戻す/進める設定を することができます。



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|-----|---|----------------|---|-------|
| 1 | A | 部分表示 | ぬい順表示の 1 番上の色糸でぬわれる部分の形が表示さ れます。 | |
| 2 | ■ ^{ミズ/ロ} ● ^{キミドリ} ● ^{ウスアカ} | ぬい順表示 | 糸色のぬい順を示します。縫製中はスクロールし、現在縫 製している糸色が 1 番上に表示されます。 | |
| 3 | 1 | 針棒番号 | 左のぬい順表示の糸色が割り当てられている針棒番号を示 します。 | |
| 4 | _ \$ | 糸こま交換 マーク | 糸こま交換の時期を示します。表示されている色と色の間 で糸こま交換が必要です。 | P.80 |
| 5 | ₿ <u></u> 8 | ぬい順数 | 下段は模様の総色替え数、上段は現在ぬっている糸色の順 番を示します。 | |
| 6 | <u> 0</u> 10519 | 針数 | 下段は模様の針数の総数、上段は現在ぬい終わった針数を 示します。 | |
| 7 | 0 min 27 min | 縫製時間 | 下段は模様をぬうのに必要な総所要時間、上段はぬい終 わった時間を示します。(糸替えの時間は含みません。) | |
| 8 | 18min | 糸こま交換 時間 | 7 色以上の模様のとき、次の糸こま交換までの時間を示し ます。 | P.79 |
| 9 | 1 | 針棒キー | 押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。 自動針穴糸通し装置で糸を通すときに使います。 | P.40 |
| 10 | באלם <u>ב</u> גלם | 糸替え表示 | 隣の針棒キーの番号の針棒にセットする糸色、糸色名(糸番 号)を示します。この表示に従って糸色をかけます。 | P.39 |
| (1) | - 600 rpm + | 縫製最高速 度設定キー | 縫製最高速度を設定することができます。 | P.95 |

※ ① 縫製最高速度設定キーは、縫製設定画面、縫製画面の両方の画面にあり、どちらの画面でも機能・操作 のしかたは同じです。

お知らせ

● ぬい順表示と色替表示の糸番号は、色名や他のブランドの糸番号などに切り替えることができます。(P.149 「糸色表示を切り替える」参照)



| 番号 | 画面表示 | 名称 | 説明 | 参照ページ |
|----|--------------|----------------|---|------------------------|
| 12 | 停止予約 | 停止予約 キー | 縫製中に、次の色をぬう直前でミシンを停止したいとき に押します。 | P.96, 98 |
| 13 | 縫製 キャンセル | 縫製キャン セルキー | 縫製を取り消して、縫製設定画面に戻りたいときに押し ます。 | |
| 14 | | 一時的針棒 設定キー | 一時的に針棒設定を手動で設定できます。 | P.98 |
| 15 | ∀ -/+ | ぬい目戻る /進むキー | ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。次の ような場合に使います。 ・縫製の途中で糸が切れたり、なくなったとき ・始めからぬい直したいとき ・一旦電源を切ってから、続きをぬうとき | P.83, P.85, P.87 |
| 16 | | ロック解除 キー | 約10秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、 スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。 糸切り操作をするときに押して、ミシンロックを解除します。 | P.47 |

わからないことがあるときの参考

専門用語

■ USB コネクタ (A タイプおよび B タイプ) パソコンと周辺機器の通信方法の1つです。 USBメディアをミシンの USB コネクタ (A タ イブ)へ差し込んだり、ミシンの USB コネクタ (B タイプ)に付属の USB ケーブルを差し込ん で、ミシンとパソコンを接続したりすることが できます。(P.118 「パソコン (USB)」、P.121 「USB メディア(市販品)」参照)

DST

刺しゅう模様のフォーマットの1つ、タジマフォーマットファイルの拡張子(*.dst)です。タジマフォーマットには色情報がないので、模様呼び出し時にミシンが自動的に色を割り当てます。(P.167参照)

■ 針番号

針は右から左に番号が付いています。1番右の針は1番針です。(P.vii参照)

■「縫製位置」の針

針板の針穴上方にある針です。針棒ケースが移動し、次にぬう糸色の付いた針を「縫製位置」へ配置します。また、自動針穴糸通し装置を使用するときは、糸をかける針を「縫製位置」へ移動させてください。(P.46参照)



① 針
 ② 針板の針穴

■ ワイパー

糸を引くための装置です。自動針穴糸通し装置 を使用するときに、ワイパーが糸を引きます。ま た、ミシンが糸を切るときも、ワイパーが布から 糸を引きます。これで、刺しゅう後の上糸処理が 不要になります。(P.45参照)

模様

ミシンでは次の模様を刺しゅうすることができます。

- *.pes、*.phc、*.dstフォーマットの刺しゅうデータ USBメディアからデータをミシンへ転送します。 また、USBケーブルでパソコンからミシンへデー タを転送することもできます。
- 刺しゅうカード(別売)
- 刺しゅう PRO で作成した刺しゅう模様
- ミシンにより USB メディアに保存された模様

刺しゅう

- 初期設定の色の替わりに、自分が刺しゅうしたい色を設定する
- 「編集」または「縫製設定」画面でキーを選択し、 「色替え」機能を使用します。詳細は P.131 を参 照してください。
- 「縫製」画面でキーを選択し、「一時的針棒設定 キー」機能を使用します。詳細は P.98 を参照し てください。
- 模様の途中で刺しゅうを中止して電源を切り、後で刺しゅうを再開する
- ミシンは、電源を切った後でも模様と位置を記憶します。そして、再び電源を入れると、ミシンは刺しゅうを再開します。(P.66 参照)

■糸切れエラーが発生する

- 上糸が糸道上を通っていることを確認します。 (P.43参照)
- 上糸が回転調子皿のプーリーに1回巻きついていることを確認します。(P.43参照)



1 糸道上
 2 回転調子皿のプーリー

■ 糸調子が突然変わった

- 糸が、上糸こまの端の粗い部分に引っかかった。
- 上糸が糸こまの下に引っかかった。
- 糸のちりや糸くずがボビンケースの調子バネ の下にたまっている。

■ 枠がキャリッジからはずれる

ピンが刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認します。(P.37参照)

■ 縫製をリセットし、最初から始める

画面の左上の「新規作成」キーを選びます。 模様 と全ての情報が消去されます。(P.54参照)

その他の基本操作

7色以上の模様をぬう場合など2章とは違う想定での操作や、針を交換したいときなど状況に応じ た操作を、ケース別に説明します。

| 前回電源を切る前の操作の続きをするに | こは | 66 |
|--|---------------------|----|
| 針を交換する | | 67 |
| 刺しゅう枠を上手に使うには | | 69 |
| 刺しゅう枠の種類と用途 / 69 | | |
| 布地に接着芯を貼る | | 70 |
| 布地の張り方 | | 71 |
| 特大枠、大枠の布地の張り方 / 71 布地が大きい/小さいときは / 73 | 刺しゅうシートを使う / 72 | |
| 刺しゅう枠の位置と動きについて | | 74 |
| 思い通りの位置にぬうには 角度を調整する / 77 | | 76 |
| 7色以上の模様をぬうときは | | 79 |
| 糸こま交換が必要かどうか確認するには | / 79 | |
| 糸こま交換を指示されたときは | | 81 |
| 糸こま交換表示について / 81 | 簡単な糸こま交換のしかた / 82 | |
| 途中で糸が切れた/下糸がなくなったと | ときは | 83 |
| 上糸が切れたとき / 83 | 下糸が切れた/なくなったとき / 84 | |
| 始めまたは途中からぬいたいときは | | 85 |
| 停止後、途中からぬうときは | | 87 |
| 糸調子を調整する | | 89 |
| 下糸の調子を調整する / 89 | 上糸の調子を調整する / 90 | |

前回電源を切る前の操作の続きをするには

電源スイッチを入れ、 0K を押してから表示される画面は、前回電源を切ったときの終了の状態に よって異なります。前回、操作の途中で電源を切った場合は、切る前の続きの操作をすることもで きます。



されます。

針を交換する

曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。P.17「正しい針の見分け方」で確認したこのミシン専用の針、付属の針交換ドライバーと針交換ツールを用意してください。



針交換ツールは、図のように①を押すと 針つかみ金具②が出ます。金具を針に 引っ掛け押していた部分を離すと、針を つかみます。針を離すときは、再度①を 押します。



4 針を針交換ツールで押さえたまま、止め ネジをしめます。

針交換ドライバーを右に回します。



注意



刺しゅう枠を上手に使うには

刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。このミシンでは、付属の刺しゅう枠の他に、帽子枠(別売)も使うことができます。



刺しゅう枠の種類と用途

| 特大枠 | 大枠 | 中枠 | 小枠 | |
|---|--|--|---|--|
| | | | | |
| 刺しゅうのできる範囲 ヨコ 300mm ×タテ 200mm | 刺しゅうのできる範囲 ヨコ 180mm ×タテ 130mm | 刺しゅうのできる範囲 ヨコ 100mm ×タテ 100mm | 刺しゅうのできる範囲 ヨコ 60mm ×タテ 40mm | |
| 文字や模様をつないで刺 しゅうしたり、組み合わ せたり、大きな刺しゅう をするときに使います。 | ヨコ 1 8 0 m m × タテ 130mm 以下の大きさの 刺しゅうをするときに使 います。 | 標準サイズの模様をぬう ときに使います。 | ネーム入れなど小さな刺 しゅうをするときに使い ます。 | |
| (P.71「布地の |)張り方」参照) | (P.34「刺しゅう枠に布地を張る」参照) | | |
| 帽子枠 | (別売) | | | |
| los de la companya de | | ミシンでの使用可能構 らぬう刺しゅう模様が 全て使用可能としてす 大きさに合った刺しゅ きすぎる刺しゅう枠材 | 回しゅう枠表示では、これか が入る大きさの刺しゅう枠が 表示されますが、できるだけ ゅう枠を使ってください。大 を使うと、模様くずれやぬい | |
| 刺しゅうの ヨコ 130mm | できる範囲 ×タテ 50mm | 縮みが起きることが る | あります。 | |
| 帽子に刺しゅうをするとき この枠で刺しゅうできる チューリップハット、バケ サンバイザーや赤ちゃん用の が50mm以下のものには 80 mmより大きい帽子にも | に使います。 帽子は、野球(ゴルフ)帽、 ツ帽です。 D帽子など、帽子の正面の高さ 使えません。また、ヒサシが D使えません。 | お知らせ これらの刺しゅう枠の あります。ネーム枠の 明書を参照してくださ | Dほかに、ネーム枠(別売)も D詳細は、ネームワク取扱説 さい。 | |

布地に接着芯を貼る

ぬい縮みや模様くずれをふせぐために、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。



布地の張り方



刺しゅうシートを使う

布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を刺 しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線を目 安にして張ると便利です。





2 内枠に刺しゅうシートを置きます。布に 付けたしるしと刺しゅうシートのガイド ラインを揃えます。



ガイドライン
 内枠

3 折り目やしわがなくなるように丁寧に布 を伸ばし、内枠ではさみます。







その他の基本操作(の布地の張り方)

布地が大きい/小さいときは

枠に対して布地が大きかったり、小さかったりした ときの対処のしかたについて説明します。

■ 大きな布地や重い衣類の場合

大きな布地やジャンバーなどの重い衣類をぬう ときは、クリップで刺しゅう枠に留めるなどし て、刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないよう にしてください。垂れ下がった状態でぬうと、刺 しゅう枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因 となります。



クリップなどで刺しゅう枠に留めます。

■ 小さい布地の場合

布用スプレーのりを使って、刺しゅう枠に張っ た芯に小さい布地を貼ります。布用スプレーの りを使いたくない場合は、しつけをします。





■ 布地の隅にぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺 しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使い たくない場合は、しつけをします。



① 布地 ②芯

■ リボンテープのような細いものにぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺 しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使い たくない場合は、テープの両端を芯といっしよ に刺しゅう枠に張ります。



① リボン ②芯

刺しゅう枠の位置と動きについて

ミシンを操作する上で、刺しゅう枠について知っておいていただきたいことを説明します。

■ 縫製できない刺しゅう枠

P.34で説明したとおり、画面左上の使用可能刺 しゅう枠で表示されている刺しゅう枠が、現在 選んでいる模様をぬうことができる枠です。 ぬいたい模様より小さい縫製範囲の刺しゅう枠 は、使用できません。模様の大きさが縫製範囲よ り小さい場合でも、縫製位置がその枠の縫製範 囲から外れているときもその枠は使うことはで きません。

模様より小さい縫製範囲の枠



模様がその枠の縫製範囲から外れている



このような場合は、ミシンは刺しゅう枠を交換 するようにメッセージで知らせてくれます。



ミシンは、台枠の左アームの位置でどの枠が セットされているか感知します。したがって、実 際刺しゅう枠がセットされていない状態でも、 左アームの位置で判断します。また、台枠がセッ トされていない状態では、帽子枠(別売)がセッ トされていると判断します。

刺しゅう枠をセットしていない状態でも、枠の 交換が指示されることがあります。

■ スタート位置への移動

縫製前の針位置は刺しゅう模様のぬい始め点(ス タート位置)にあります。

刺しゅう枠を交換すると次にセットした枠はス タート位置にありません。

例えば、スタート位置が特大枠の中心であり、小 枠に交換した場合は次のようになります。



1)特大枠の中心に針位置
 2)刺しゅう枠を交換したときの針位置

スタート位置のズレがある場合には、次のとき に刺しゅう枠を自動的にスタート位置に移動し ます。

1) 縫製設定画面に進んだとき

2) 縫製設定画面でのボタンを押したとき

・ 縫製設定画面、縫製画面で刺しゅう枠を交換 し、縫製範囲の確認・枠移動・縫製開始の各 キーを押したとき 必ず動きます。 正位置に移動して一旦止まりますので、もう 一度目的のキーを押してください。 移動後、模様がその枠の縫製範囲から外れて いる場合は、枠交換メッセージが表示されま す。枠を交換するか、編集画面に戻ってサイ

ズや縫製位置を調整してください。

思い通りの位置にぬうには

購入時は、模様の中心からぬい始めるように設定されています。したがって、縫製位置にある針の針落ち位置に模様の中心がくるように、枠を移動してぬい位置を調整します。また、刺しゅう枠に対して布地を平行に張ることができず、布地に対して模様が傾いてしまう場合は、模様全体の角度を調整します。







お知らせ

● この機能で微妙な角度調整をすることができますが、袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合にもこの機能を使うと便利です。

例:ピロケースにぬう場合 模様を左に90度回転してぬいます。



例:Tシャツにぬう場合

模様を180度回転します。Tシャツの襟刳り側ではなく胴側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動による襟刳りの伸びを防ぎます。



7 色以上の模様をぬうときは

7色以上の糸色を使う模様の場合は、糸こまの交換が必要になります。 交換時は、 ミシンが停止し糸こ まを交換するよう指示が表示されます。

■ 針棒への糸色の割り当てのしくみ

糸色は、ぬわれる順の早い順に1番針棒から6 番針棒へ、ミシンが自動的に割り当てます。(ただし、新しくぬう模様に前回ぬった模様と同じ糸色がある場合は、ぬい順に関係なく前回と同じ針棒に割り当てられます。)

例えば、色数6色、糸替え数10回の模様の場合 は次のようになります。



7色以上の模様の場合は、7色目が必要になった ときに糸こま情報が更新されます。

それ以降の糸こま交換が最小限ですむように、 ミシンが糸色を割り当て直します。

例えば、色数10色、糸替え数13回の模様の場合は次のようになります。



で、その他の番号の針棒が割 り当て直されます。

糸こま交換が必要かどうかを 確認するには

模様を選ぶときに糸替回数は確認できますが、何色の糸色の模様であるかは確認できません。糸こま交換は必要かどうか、必要な場合はいつ必要か、次の表示で確認できます。

■ 糸こま交換時間

糸こま交換時間は、次の糸こま交換までの時間 を示します。縫製画面に進んだとき、ここに時間 が表示されたら、最低1回は糸こま交換が必要 です。



①糸こま交換時間



🎤 の位置を確認します。



- ① 1 は糸こま交換時期を示します。表示 されている色と色の間で、表示回数分交 換が必要です。
- ② 色替表示を戻すときは、 0 ー を押します。1回押すごとに1色ずつ前の色へ、色替表示がスクロールします。1色目の色が色替表示の1番上にきたら止まります。
- ④ 確認し終わったら、□ または ↓ 0 を 押して最初の色に戻り、 0 K を押しま す。



▶ 縫製画面に戻ります。

糸こま交換を指示されたときは

糸こま交換表示の見方と簡単な糸こま交換のしかたについて説明します。

糸こま交換表示について

7色以上の模様をぬう場合糸こま交換が必要なとき は、ミシンは自動的に止まり、次の画面が表示され ます。この他、新しい模様をぬう場合に糸こま交換 が必要なときも表示されます。新しい割り当てに 従って、糸こまを交換してください。



- 糸こま交換が必要な針棒は、カラーで表示されます。
- ② 糸こま交換が必要ない針棒は、グレーで 表示されます。
- ③ 押すと、現在の糸色の割り当てをミシン が記憶します。



お知らせ

- ●使用中の糸色で代用してしまいたい場合は、縫製中に一時停止して設定を変えることができます。 (P.98 「一時停止針棒設定」参照)
- 糸こま交換の手間を減らすため、よく使う糸色を 特定の針棒に決めることもできます。(P.100 「手動針棒設定」参照)



途中で糸が切れた/下糸がなくなったときは

縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空 ぬいがされてしまいますので、ぬわれている部分と少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬいま す。





- 下糸がなくなった場合は、ここでボビンを 交換します。
- 下糸が巻かれたボビンと交換します。 (P.25参照)



- ●下糸の巻き方は、P.22「下糸を巻く」を 参照してください。
- 釜カバーを開けることができれば、刺 しゅう枠を外さずにボビンを交換できま
- 袋状の布地などでミシンベッドをおおっ ており、釜カバーを開けることができな い場合は、ここで一旦刺しゅう枠を外し ます。(P.51参照) ボビンを交換した後、 刺しゅう枠をセットします。(P.36参照)



縫製の途中で刺しゅう枠を外す場合は、次のことに 注意してください。模様くずれの原因となります。

- 張られている布地に無理な力をかけて布地をたる
- 刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際は、 キャリッジや押えに当たらないようにする。 キャリッジに当たってキャリッジが動いてしまっ た場合は、電源を入れ直してください。ミシンを 止めたときの状態をミシンが記憶しており、正し い位置に戻ります。
- 刺しゅう枠をセットしたときは、台枠の左右の。 アームのピンが刺しゅう枠の取付部の穴にきちん と入っているか確認する。

P.83の「上糸が切れたとき」の手順 🕑 からと同様にぬい目を戻して、続きをぬ います。

始めまたは途中からぬいたいときは ぬってみて糸調子があっていなかったり、糸色をまちがえてしまったりしたときなど、始めからぬい直 したいときはぬい目を戻してから新たにぬい直します。また、糸色・ぬい目を進めたり、戻したりする と、ぬい始めたい糸色のぬい目からぬうこともできます。 ■ 始めからぬいたいとき お願い V 0 を押します。 ● ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動 きますので注意してください。 1 Constant 24mm ⇔ 37mm $3 \sqrt{-309}{996}$ スタート/ストップスイッチを押して、 3min ミシンを止めます。



- 必要に応じて、布地を張り替えたり、ぬった刺しゅう部分をはさみで取り除いたりします。
- 2 🛛 -/+ を押します。



▶ ぬい目戻る/進む画面が表示されます。



- ① 1 色目の部分のぬい始めに戻ります。
 - 刺しゅう枠が動いて、ぬい始めの位置に戻ります。

その他の基本操作



- 1回押すと、そのときぬっていた色部分の ぬい始めに戻ります。2回目から、1回押 すごとに1色ずつ前の色部分のぬい始め 位置に戻ります。
- ② 1回押すごとに次の色部分のぬい始め位置 に進みます。
- ③1回押すごとに1針ずつ戻ります。
- ④1回押すごとに10針ずつ戻ります。
- ⑤1回押すごとに100針ずつ戻ります。
- ⑥1回押すごとに1針ずつ進みます。
- (7)1回押すごとに10針ずつ進みます。
- (1) 「日井すごとに100針ずつ進みます。
- ◎ 「凹押りしこに「UU町り フ進のより。 ◎ 存共主一の 」 乗しに主一されていて必
- ⑨ 色替表示の1番上に表示されている糸色 が現在選ばれている色部分です。
- ⑩ 押すと、この画面を閉じます。
 - ▶ 刺しゅう枠が動いて現在の針位置を示します。
 - ◎と⑥を押した場合は、針棒ケースも動いて 現在の針棒が縫製位置に移動します。

4 ぬい始めのぬい目が指定できたら、 oк を押します。



▶ 縫製画面に戻ります。

5 (ロック解除キー)、スタート/ス トップスイッチを押して、ぬいます。

▶ 指定したところからぬい始めます。

停止後、途中からぬうときは

次のようなときは、ぬい終わったところまでのぬい目をミシンが記憶しています。

- ・ 縫製の途中で一旦電源スイッチを切った後で続きをぬうとき
 電源を入れキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、糸が引っ張られたり、引っかかったりしないよう、電源を切る前に糸を切っておきます。
- ・**縫製中に停電などで電源が切れたとき** 次に電源を入れたときに続きからぬうことができますが、ぬい目を少し戻してからぬい始めます。







糸調子を調整する

P.50で説明したように正しい糸調子になっていない場合の、糸調子の調整のしかたを説明します。まず下糸の糸調子を調整してから、各針棒の上糸の糸調子を調整します。



その他の基本操作

上糸の調子を調整する

糸調子つまみを手で回します。



- ①糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。
- (4) ED

■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



矢印の方向に回して、弱くします。



 赤い線が見えたら、これ以上弱くできません。下糸の糸調子を強くしてください。 詳しくは、P.89「下糸の調子を調整する」 を参照してください。



■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて、上糸がたるみ糸の締まりがゆるく なったり、表側に糸のループができています。



矢印の方向に回して、強くします。





4

縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

| 自動止めぬい設定 | | 2 |
|-------------------|---------------------|---|
| ぬい始め/終わり位置設定 | 93 | 3 |
| 斜めに繰り返しぬいをする / 94 | | |
| 縫製最高速度設定 | 9 | 5 |
| 糸替え時停止設定 | | 6 |
| 次の糸替え時に停止する / 96 | 経製前にポーズ位置を指定する / 96 | |
| 一時的針棒設定 | | В |
| 手動針棒設定 | | D |
自動止めぬい設定

模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、糸切り前に、ほつれ止めのための止めぬいを自動でするように設定できます。

| 購入時は、模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、糸切り前ともに、自動止めぬいをするように | ■ 糸切り前に止めぬいをする |
|--|--|
| 設定されています。 | ● を押して、 にします。 |
| ■ 模様のぬい始めと糸切り後のぬい始めに止めぬいをする | (または)を押して、設定し ます。 |
| ・・・・・を押して、・・・・・にします。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 24mm ↓ 0.0mm 0° ↓ 0.0mm 37mm ↔ 0.0mm 5° ↓ 0.0mm K< ↗ □ ↓ 0.0mm K ♪ ↓ 0.0mm ↓ 0.0mm |
| | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
| ● キーを 1 回押すごとに、切り替わります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ● 自動止めぬい設定は、キーを押して解除するまで 解除されません。電源を切っても、設定内容は記 憶されています。 |
| あ知らせ ぬい始めの長さが0.8 mmより短いと、止めぬいが不要となるため、自動止めぬいはされません。 設定画面で渡り糸切りをOFFに設定した場合は、自動止めぬいはされません。(P.153「渡り糸切りくつらちむ定しを照) | ● 設定画面で渡り糸切りをOFFに設定した場合は、 自動止めぬいはされません。(P.153「渡り糸切り/DST設定」参照) |

ぬい始め/終わり位置設定

刺しゅう模様のぬい始めとぬい終わりの針位置を、模様の左上、左中央、左下、上中央、中心、下 中央、右上、右中央、右下の9点のいずれかにそれぞれ設定できます。 この機能を使うと斜めの繰り返しぬいができます。



縫製設定

自動止めぬい設定
ぬい始め/終わり位置設定



縫製最高速度設定

縫製最高速度を、1 分間に 600 ~ 1000 回転の間の 100 回転ごと 5 段階から設定できます。帽 子枠を使用時は400~600回転の間の50回転ごと5段階から設定できます。

縫製最高速度表

| 刺しゅう枠 | | | 帽子枠 |
|-------|------|---|-----|
| 1 | 1000 | 1 | 600 |
| 2 | 900 | 2 | 550 |
| 3 | 800 | 3 | 500 |
| 4 | 700 | 4 | 450 |
| 5 | 600 | 5 | 400 |

縫製設定画面または縫製画面で設定します。 購入時は、600回転に設定されています(帽子 枠は400回転)。







▶ - と + 問の数字が変わります。



- 薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度に設定 してください。また速度を遅くするほど、縫製音 は静かになります。
- 経製の途中でも、設定を変更することができま。 す。
- 経製最高速度設定は、設定を変更するまで変わり。 ません。電源を切っても、設定内容は記憶されて います。
- 金属製の糸のように弱い糸をお使いの場合は、縫 製速度を600回転に設定してください。

糸替え時停止設定

ミシンはいつでも止めることができますが、縫製の途中で止めると次のぬい始めは、ぬい目を少し 戻さなくてはなりません。糸替え時に止めるとぬい目の調整をしなくてすみます。



(^m)

0 K







● 停止設定は何回でもできます。

設定し終わったら、 のк を押します。





▶ 🗊 を押す前の画面に戻ります。

● 縫製後、設定したところで停止したとき、 一旦電源を切って続きをぬう場合は、次 に電源を入れたときにミシンが続きをぬ うか、新しく模様を選ぶか尋ねてきます。

ок を選ぶと、続きからぬうことができ ます。(P.87「停止後、途中からぬうとき は」参照)

お知らせ

- 一色目にポーズ位置を指定することはできませ ん。
- 一旦電源を切っても、続きをぬう場合は電源を切 る前に設定した糸替え時停止設定は解除されませ ん。新しく同じ模様を選んだ場合は、解除されま す。
- 糸替え時停止設定をした模様を記憶すると、糸替 え時停止設定も記憶されます。



▶ 指定した針棒でぬわれます。



(針棒)変更はできません。

手動針棒設定

通常、糸色の割り当てはミシンが自動的に行いますが、特定の針棒に任意の糸色を自分で設定することができます。設定を行うと、その針棒はミシンの自動割り当ての対象から外れ、常に設定した糸色が割り当てられます。

よく使う糸色を設定しておくと、糸こま交換の手間を省くことができ便利です。



▶ 手順 3 で選んだ糸色が設定されます。

①糸こまに糸色・碇マークが表示されます。





① 碇マークが消えます。

▶ これで針棒設定が解除されました。

模様の選択/編集/記憶

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

刺しゅうデータに関する注意......104 基本的な模様の選び方 / 106 ワンポイント / 108 装飾アルファベット / 109 花アルファベット / 110 アップリケアルファベット / 111 枠模様 / 112 アルファベット / 113 ミシンに記憶した刺しゅう模様 / 115 刺しゅうカード(別売) / 116 パソコン(USB) / 118 USBメディア(市販品)/121 刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面)......123 編集する模様を選ぶ / 124 模様を組み合わせる / 123 位置を移動する / 124 左右反転する / 125 上下反転する / 125 大きさを変える / 125 回転する / 126 文字の配列を変更する / 127 文字間隔を変更する / 128 糸密度を変える(文字・枠模様の一部のみ) / 129 1 文字ずつ色を変える / 130 模様の色を変える / 131 模様を削除する / 132 刺しゅう模様全体を編集する(縫製設定画面)......133 繰り返し模様をつくる / 134 全て回転する / 133 模様の色を変える / 135 組み合わせの編集136 刺しゅう模様を記憶する......140 記憶できないときは / 140 ミシンに記憶する / 140 USBメディア(市販品)/142

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

注意 ● 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合 や3回以上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針折れが発生するおそれがあ ります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PRO など) で、刺しゅうデータを修正してご使用ください。

使用可能な刺しゅうデータの種類

● このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pes、.phc、.dst ファイルのみです。当社正規のデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

使用可能な USB メディアの種類(USB コネクタ(A タイプ)経由)

 ● 模様データをUSBメディアへ記憶したり、USBメディアへ記憶した模様データを呼び出したりすることができます。使用できる USB メディアの種類は次のとおりです。 USB フロッピーディスクドライブ USB フラッシュドライブ(USB フラッシュメモリ) USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ(呼び出しのみ)

〉お知らせ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブを使用して、模様データを保存することはできません。
- USB メディアは、ミシンの USB コネクタ(A タイプ)に接続して使用します。USB コネクタ(B タイプ)は パソコン用です。

また、USBメモリカードリーダー/ライターで、次の種類のメディアを使用することもできます。 SD カード コンパクトフラッシュ メモリースティック スマートメディア マルチメディアカード (MMC) xDピクチャーカード



- USBメディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能なUSBメディアについ ての詳細は、ブラザー工業のホームページ(http://www.brother.co.jp)でご確認ください。
- USB ハブを USB コネクタ(A タイプ)に接続して使用しないでください。上記の USB メディアを正しく認識 できないことがあります。
- USBメディアを差し込むと、アクセスランプが点滅します。認識するまでに5~6秒かかります。(USBメディアの種類によって、認識するまでの時間は異なります。)
- USBメディアは、必ず

 ・・・ またはUSBメディアの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、

 または電源を切った状態で、抜き差ししてください。
- この他、お買い求めの USB メディアに付属の取扱説明書を参照してください。

》お知らせ)

● フォルダを作成する場合は、パソコンを使用してください。

● フォルダ名、および模様データのファイル名には、英数字、またはダッシュ(-)、アンダーバー(_)を使用する ことができます。フォルダ名の長さが8文字以下の場合は、フォルダ名全体が画面に表示されます。9文字以上 の場合は、始めの6文字の後が「~」と数字に変わります。

使用可能なパソコンの種類と OS

● 接続するパソコンが、以下の動作環境を満たしていることを確認してください。
 対応機種: USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
 対応 OS: Microsoft Windows Me/2000/XP
 Windows 98をお使いの方は、ドライバが必要です。ドライバは、ブラザー工業のホームページ (http://www.brother.co.jp) よりダウンロードしてください。

パソコンで作成するときの注意

● フォルダ名、および模様データのファイル名には、特殊記号や コンマ(,)、ピリオド(.)を使用しないでください。フォルダ、 または模様データを正しく識別できないおそれがあります。 フォルダ名およびファイル名には、英数字、またはダッシュ(-)、 アンダーバー(_)のみを使用してください。

| 道() 模様が刺しゅう枠からはみ出し ています。回転します。 | |
|--------------------------------------|-----|
| | 閉じる |

● ヨコ 300mm ×タテ 200mm より大きな刺しゅうデータを選ぶと、右のエラーメッセージが表示され、90度回転するか、ミシンが尋ねてきます。

90度回転してもヨコ300mm×タテ200mmより大きな刺しゅうデータは扱うことができません。(デ ザインは全て、デザイン領域ヨコ300mm×タテ200mm内にしてください。)詳しくは、P.117を参 照してください。

- 針数、色数の制限を越えて記憶した.pesファイルは模様が表示されません。当社正規のデータ作成装置で、 制限内(針数50万針、色替え500回、模様の組み合わせ100個まで)の模様に修正してご使用ください。
- リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内に刺しゅう データを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。

タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータについて

- .dst データは、模様一覧画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。)ファイル名は、8文字までのアルファベット・数字で表示されます。
- .dstデータのファイル名に全角文字を使用すると、PR-600IIが模様データを正しく認識できないおそれ があります。
- タジマフォーマット (.dst) には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても 当社指定の糸色順で表示されます。画面上で、でき上がりを確認しながら、糸色変更でお好 みの色に変更してください。詳しくは、P.167を参照してください。

DST

お知らせ

● USBメディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能なUSBメディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ(http://www.brother.co.jp)でご確認ください。

刺しゅうデータに関する注意

刺しゅう模様を選ぶ

このミシンには、刺しゅう模様が内蔵されています。それらの模様の他、刺しゅうカード(別売)や USBメディア(市販品)、パソコンから模様を呼び出すことができます。

基本的な模様の選び方

模様の種類によって多少違いがありますが、基本的には次の手順で選びます。



次に表示される模様一覧画面で模様キーを押して、模様を選びます。 〈模様一覧画面〉



- ① 模様キー
- ・ 模様キーを押すと、その模様の情報が表示されます。
- ⑤ 模様の縦の長さ
- ⑥ 模様の横の長さ
- ⑦ 色替え回数
- ・複数のページがあるときは、② て、 ③ ⁽¹⁾を 押して目的のページを表示します。
- ・カテゴリーを選び直したいときは、 ④ **>セル を 押します。模様選択画面に戻ります。
- ・ 模様を選んだら、
 ⑧ (セット) を押します。
 選択が
 確定され、
 編集画面に進みます。

・模様キーを押して、画面の右側に次のキーが表示 されたら、ここで模様を編集することできます。

| 126 mm | | \$ 125. | 9mm ↔ | 78.6 m | n 🏮 6 | | r @ | |
|--------|----|-------------|-------------------|----------------|-------|---------------------|--------------|------------|
| 79.mm | | A | B | C | | キャンセル | | A |
| | Ξ. | 2.19 | | | | | | \bigcirc |
| | | 100 | 100 | 100 | | | 44- | -2 |
| | Ĩ | - ndightine | Calmer | and the second | - Shi | | | -3 |
| | | | -13 -13 -10 | | | <u>P. 1</u> P. 3 | D | -4 |
| | | C | | S | | Ð | セット | |

①大きさを選択できます。



- ·大中小のときは、大きさを選ぶことはできません。
- ②左右反転ができます。
- ・ キーを 1回押すごとに、切り替わります。





- ④仕上がりイメージを見ることができます。
- ・希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたときのイメージで確認するときに押します。(P.33参照)







▶ ワンポイント模様一覧が表示されます。

模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。



▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



●まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

3 必要に応じて、模様を編集します。



① 左右反転できます。

② 上下反転できます。
 ③ 仕上がりイメージを見ることができます。

4 (セット)を押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。





●まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを

押し直します。











①押すと、大きさを変更できます。

■ 大きさを変更する

1 文字目を選んでから <u>大中小</u>を押し、希望の大きさにします。

- 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ 大きさになります。
- 文字を組み合わせた後で、まとめて大き さを変えることはできません。(編集画面 で大きさを変更することはできます。)

| ★ お願い ▲ ABCDE および ABCDE | の小さいフォントは、大 |
|---|---|
| きさを変更することが | できません。 |
| 6 複数の文字を入た | りしたい場合は、手順 |
| 3~4 を繰り返 | して入力します。 |
| ▶ 模様表示エリア | に、文字が入力されます。 ① |
| 国 <u></u> 税税 税税 Lucky | mm 2 14,9m ↔ 10,4m ⊕ 1 a b o d e #₩ ₽₽ f g h i j @9% k l m n o _ p q r s t ` k BC abc 0-98?! ÄÅÄ |
| まちがえて文字 | を入力したときや文字を |
| 入力し直したい。 | ときは、 |
| 字を取り消して | した |
| 削除 | こから入力し直します。 |
| を押すと | 、文字列の最後の文字か |
| ら1文字ずつ取 | り消されます。 |

● 文字が小さくて画面表示が見にくいとき
 は、 確認 を押すと文字の確認ができま



1) 押すと、文字チェック画面が表示されます。

| ‡ 20mm ↔ 128mm | | |
|-------------------|-------------|------------|
| | Lucky_Color | |
| | | |
| lor · | | |
| 1 | · | BBUTT |
| | | 閉じる |

確認ができたら、閉じるを押して文字入力 画面に戻ります。

\$ 14,9mm ↔ 10,4mm 🎚 19.mm 1 59 mm 18 а b с d е キャンセル 大中小 1Ē f g h i j. 削除 1Ē k T m n 0 配列--(1) 10 t р q r s 確認 ú u ٧ w x || У z セット abc 0~9&?!--ÄÅä ABC

必要に応じて、配列を変更します。

①押すと、配列を変更できます。

■ 配列を変更する

配列 を押すと、次の画面が表示されます。希望の配列のキーを押します。

配列が決まったら、 **ок** 押します。文字入力画 面に戻ります。



- ①直線に配列します。
- ② 斜線に配列します。
- ③ゆるい曲線の外側に配列します。
- ④ 急な曲線の外側に配列します。
- ⑤ ゆるい曲線の内側に配列します。
- ⑥急な曲線の内側に配列します。
- ⑦ 曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを弱く(ゆるく)できます。
- ⑧曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを強く(急に)できます。
- ●この画面で配列を変更すると、より多くの文字を入力することができます。

8 入力し終わったら、セットを押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。



ミシンに記憶した刺しゅう模様

ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出します。記 憶のしかたは、P.140「刺しゅう模様を記憶する」 を参照してください。

| 1 <u>2</u> æ | 押します。 | |
|--------------|-----------|----|
| Dmm €→ 0mm | | P |
| | AB ABC AB | 編集 |
| | | |
| | | |

▶ 模様一覧が表示されます。

2 模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。



▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



ミシンの空き容量を示します。
 押すと、選んだ模様を削除します。

●まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

3 (セット)を押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

■ 刺しゅうデータを削除するときは

ミシンに記憶した刺しゅうデータを整理するために不要データを削除することができます。 P.140の手順 2 で、削除したい模様を模様表示エリアに表示させてから、 1000 を押すと、次の画面が表示されます。



- データを削除して、模様が何も選ばれて いない状態に戻ります。
- データの削除をキャンセルして、
 弾す前の状態に戻ります。



1 刺しゅうカードをミシンにセットします。

刺しゅうカードの矢印を手前にして、操 作パネル右側にある刺しゅうカード差し 込み口にまっすぐいっぱいまで入れます。



お願い

- 刺しゅうカードは、必ず または刺しゅうカードの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。
- 刺しゅうカードを矢印の方向以外の向きに入れたり、無理やり入れたりしないでください。また、カード以外のものは絶対に入れないでください。 故障の原因となります。
- 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードを使用してください。
- 外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。
- 使用可能な刺しゅうカードは、P.6「別売オプ ション」を参照してください。



▶ 刺しゅうカード模様一覧が表示されます。

- 3 模様の選び方は、P.106~115と同じ です。
- ヨコ 300mm × タテ 200mm より大きい 模様の場合

ヨコ 300mm × タテ 200mm より大きい模様 を読み込んだ場合は、次のメッセージが表示さ れます。



聞ご を押すと、90 度回転して読み込みます。 回転してもヨコ 300mm × タテ 200mm より 大きい場合は、次のメッセージが表示されます。

| 模様が刺しゅう枠の縫製範囲から はみ出します。 | |
|----------------------------|-----|
| | |
| | |
| | 閉じる |

閉じる を押して、模様一覧画面に戻ります。

お知らせ

● パソコン、USBメディアからヨコ300mm×タ テ200mmより大きい模様を選んだ場合も、同 様の手順で操作してください。

パソコン (USB)

付属のUSBケーブルを使って、お手持ちのパソコンとミシンを接続し、パソコンに保存されている刺しゅう模様をミシンに転送して一時的に呼び出し、扱うことができます。



[●]パソコン・ミシンへのUSBコネクタの差し込みは、パソコン・ミシンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。

● 必ず付属のUSB ケーブルを使用してください。 ● USBコネクタは差し込む向きが決まっています。 入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの 向きを確認してください。 ● パソコン (または USB ハブ) の USB ポートの 位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してく ださい。 ▶ USB ハブに接続する場合、ご利用の環境によっ ては、USBハブに接続できない場合があります。 その場合はパソコン本体のUSBポートに接続し てください。 2) パソコンの「マイコンピュータ」に「リ ムーバブルディスク」が表示されたら、接 続は完了です。 🖳 マイコンピュータ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(H) Ē



■ 呼び出し方



お願い



 「リムーバブルディスク」に入れた模様デー タが、ミシンへ書き込まれます。



刺しゅう模様を選ぶ

■ 呼び出したい模様を呼び出せないときは

パソコンからの模様データの呼び出しは、パソ コンから直接データを引っ張るのではなく、模 様データをミシンに一時的に書き込み、その書 き込まれた模様データを呼び出しています。ミ シンへの書き込みできるデータ量には限度があ り、そのデータ量を超えると模様データは呼び 出すことはできません。



1

ミシンのUSBエリアの空き容量を示します。その範囲の容量の模様データを追加して呼び出す(一時的に書き込む)ことができます。

空き容量より大きい容量の模様を呼び出したい ときは、現在書き込んでいる模様を削除してか ら呼び出したい模様をフォルダに入れます。

パソコンの「リムーバブルディスク」の 中の不要な模様データを削除します。

模様データを選んでゴミ箱に入れるか、 右クリックをして削除を選びます。





ミシンへの書き込みが終了すると、ミシンの 画面にその模様キーが表示されます。



1 注意

● USB ケーブルを外すときは: USB ケーブルを外す前に、Windows® Me/2000の場合はタスクバーの「ハー ドウェアの取り外し」アイコンを、 Windows® XP の場合はタスクバーの 「ハードウェアの安全な取り外し」アイ コンをクリックしてください。リムーバ ブルディスクが安全に取り消すことがで きる状態になったら、USB ケーブルを パソコン・ミシンから抜いてください。

ا 14:42 🖸 🖄 🛞 🖓 🖸 💋

また、Windows 98SEの場合は、アク セスランプが点滅していないことを確認 してから、USBケーブルをパソコン・ミ シンから抜いてください。

※ お願い

 必ず上記の手順を踏んでから、USBケーブルを パソコン・ミシンから抜いてください。パソコン が誤動作し、データが正しく書き込まれなかった り、データやミシンのデータ書き込みエリアが破 壊されたりする恐れがあります。

USB メディア(市販品)

USB メディアに記憶した刺しゅう模様を呼び出し ます。記憶のしかたは、P.140「刺しゅう模様を記 憶する」を参照してください。



USBメディアをミシンのUSBコネクタ (A タイプ)に差し込みます。

使用するUSBメディアの種類によって、 操作パネル右側のUSBコネクタ (Aタイ プ) に、USBメディアを直接差し込むか USB メディアのケーブルを接続してく ださい。



① USB コネクタ (A タイプ)
 ② USB メディア

USBメディアのケーブルをUSBコネク タ(Aタイプ)に接続する場合は、必ず ケーブルをパネル背面の3つのフックに かけて固定してください。ケーブルを固 定しないと、刺しゅう枠が動いたときに ケーブルに当たり、模様くずれの原因と なります。





- 示されている状態、または電源を切った状態で、 抜き差ししてください。
- USBメディア以外のものは絶対に入れないでく ださい。故障の原因となります。

淡 お願い

● フォルダ名、および模様データのファイル名には、全角文字を使用しないでください。PR-600Ⅲがフォルダ、または模様データを正しく認識できないおそれがあります。



- ▶ 最上位階層内のフォルダ、模様一覧が表示されます。
- 通常、模様一覧は数秒で表示されますが、 模様数が多いと多少時間がかかる場合が あります。読み込みの最中は、模様が表示 されるまでUSBメディアを抜かないでお 待ちください。
- 一旦USBメディアからの呼び出しを終了 して、USBメディアを抜かずに次に同じ USBメディアから呼び出すときは、前回 選択した模様の入っているフォルダ内の 模様一覧が表示されます。

| 3 下位フォルダに模様がある場合は、フォ ルダを選びます。 | |
|---|-------------------|
| Comm Comm Comm FOUND.000 FOUND.000 DST_PA-1 Cost ETHNIC Solf Static Static | 5 |
| 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm 0 m | ● 樽 U に手表示 |
| ③ 上位フォルタに戻るときに押します。 ④ USB メディアの空き容量を示します。 様様を選びます。 選びたい模様キーを押します。 ● ****ビルを押すと、元の画面に戻ります。 ● ****ビルを押すと、元の画面に戻ります。 ● ****ビルを押すと、元の画面に戻ります。 | Market Barrier |
| ▶ 模様表示エリアに、模様が表示されます。 | |



- ① 押すと、選んだ模様を削除します。
- まちがえて模様を選んだときや模様を選 び直したいときは、選びたい模様キーを 押し直します。

(セット)を押します。

▶ 編集画面が表示されます。

┃模様を削除するときは

USBメディアの刺しゅうデータを整理するため に不要データを削除することができます。 手順4で、削除したい模様を模様表示エリアに 削除 を押すと、次の画面が表 表示させてから、 示されます。



- いない状態に戻ります。
- データの削除をキャンセルして、 削除を 押す前の状態に戻ります。

お願い

USBメディアの模様データを削除するときは、 PR-600IIから削除してください。PR-600IIか ら削除しないと完全に削除されません。

これで模様の選択が確定されます。

模様の選択/編集/記憶

刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面

刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面)

「編集画面」では個々の模様の編集を行います。編集結果は模様表示エリアで確認できます。

模様を組み合わせる 模様を選びます。 ワンポイントと枠模様、内蔵の文字と別売の刺しゅ P.106~122の手順で模様を選び、追 うカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせ 加します。 が簡単にできます。 0.0 mm 0.0 mm \$ ₩1 を押します。 追加 r 🔨 🧷 ‡ 125,9mm ↔ 78,6mm ∎‡126mm ⇔ 79mm 0.0 mm 0.0 mm 0° 6 心自 DP Flower Ľ ф. 'N 削除 **^** R, 4 どの模様 どの模様 追加 \leftarrow \rightarrow 大きさ 回転 \mathbf{V} **N** () ● 模様を選ぶと、常に模様表示エリアの中 どの模様 どの模様 心に配置されます。 編集終了 ₿**/**....) 組み合わせたい模様分、手順 🕦 ~ 😰 を ▶ 模様選択画面に戻ります。 繰り返して、模様を選びます。 0 mm QP 0 mm ÓNÓ AAA-ABC -(1) お願い SZ (● 模様の組み合わせは 100 個までです。それ以上 ÷ 組み合わせることはできません。また、ミシンの メモリ容量を超えた場合や、使用色制限数(500 色) を超えた場合は、その時点で組み合わせがで ①組み合わせをやめるときに押します。編 きなくなります。 集画面に移行します。 お知らせ ● 個々の模様の位置の調整や編集は、編集画面でで きます。模様を選ぶごとに表示される編集画面で も、組み合わせをしたい全ての模様を選び終わっ てから表示される編集画面でも、同じようにでき ます。



位置を移動する

刺しゅう枠のどの位置に縫製するか決めます。模様 を組み合わせている場合は、個々の模様を移動して レイアウトします。

| 移動させた | い方向の矢印 | ロキーを押し | <i>、</i> ます。 |
|-------|--------------------------|---------------------------|--------------|
| | ‡ 0,0mm ‡ ↔ 0,0mm ↔ 1 | 31,1mm Ů 0° 14,5mm ₿ 1 | ∎₽ |
| | R , 1 | 41 | 削除 |
| | ← | 大きさ 回転 | 追加 |
| T | r 1 | 文字間 配列 | |
| | どの模様 | 色替え | |
| | | 糸密度 | 編集終了 |

▶ 矢印の方向に模様が移動します。

| | 12 | _ |
|--|--|---|
| 新現 (158mm) 「158mm 「158mm 」 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ | ↓ 60,0mm ① 31,1mm ○ 0° ↓ ① 0.0mm ⊕ 114,5mm ● 1 | 2 |
| A | | £ |
| | ← | n |
| | ビ シ 文字間 配列 | |
| <u>4 1</u> | ビの類様 どの類様 |) |
| Flower | | |

- ①
 移動したときの縦の移動距離を示します。
 ②
 移動したときの横の移動距離を示します。
- 移動する前の位置 (刺しゅう枠の中心) に 戻したいときは、 ↓ を押します。

| ● 158mm ⇔ 115mm | ‡ 60.0mm \$ ↔ 0.0mm ↔ | 31,1mm Č 0° 14,5mm 🏮 1 | LP |
|--------------------|--------------------------|----------------------------|------|
| | N | | 削除 |
| | ← - | 大きざ 回転 | 追加 |
| | r († 19 | 文字間 配列 | |
| | どの模様 | 色替え | |
| Ť | | 糸密度 【1111 | 編集終了 |





刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面



126

| 2 各キーを押して、希望の角度にします。 | 文字の配列を変更する |
|---|--|
| キーを押すごとに、模様が回転します。 | 文字を水平、斜め、円弧に配列することができます。 |
| 1 1 | 1 配列 を押します。 |
| 0° を押して 0° にします。 | ▶ 次の画面が表示されます。 |
| 3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の 位置を調整します。 操作のしかたは、P.124を参照してください。 ④ 変更し終わったら、 OK を押します。 ▶ 編集画面に戻ります。 注意 | 9 3 1 2 58mm ↓ 60 0mm ↓ 31, mm ↓ 0° 14. mm ↓ 1 E ↓ 2 ↓ E ↓ C ↓ C ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 ↓ 0 |
| ● 模様の角度を変えたときは、 使用できる枠の表示を確認し て使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使 用すると枠が押えに当たり、 ケガの原因となります。 | ・ ・ ・ |
| 経製設定画面の回転を使うと、組み合わせた 模様全体の回転ができます。(P.133「全て回転 する」参照) 大きな模様や、縫製範囲の端にレイアウトされて いる模様などで、回転すると縫製範囲からはみ出 る場合は、キーを押しても希望の角度に回転でき ないことがあります。 | 2 希望の配列キーを押します。 3 曲線の配列を選んだ場合は、曲線の度合いを調整できます。必要に応じて、 を押して調整します。 |




刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面

129

2 各キーを押して、希望の糸密度にします。

キーを押すごとに、少しずつあらくまたは細かくなります。

● 元の糸密度(標準)に戻したい場合は、 100%にします。

| 3 変更し終わったら、 | ок | を押します。 |
|-------------|----|--------|
|-------------|----|--------|

▶ 編集画面に戻ります。

1 文字ずつ色を変える

P.113のアルファベットで選択した文字は、黒色に 設定されています。文字の色を変えたいときは、配 色キーで変更しますが、1文字ずつ色を変えたいと きは、色替えキーをONにしてから1文字ずつ色を 設定します。



模様の色を変える

模様の色を変えて、画面で確認することができます。 色を変えると、同じ模様でも雰囲気が変わり楽しむ ことができます。

お手持ちの糸色を色パレットに登録し、そのパレッ トを使って模様の色を変更すると、お手持ちの糸色 のみで糸こまが割り当てられ、また、画面ではより 実際の仕上がりに近い色で表示されます。

この機能のみ、編集の対象になっている模様だけで なくすべての模様の色を変更することができます。

🌔 🗊 を押します。



▶ 糸色編集画面が表示されます。



- ① 色替表示の 1 番上の色の部分が色を変え る対象となります。
- ② 色替回数を示します。上段は色替表示の1 番上の色の部分の順番、下段が総色替数 を示します。
- ③色替表示を戻します。
- ④ 色替表示を進めます。
- ⑤ 色パレットの色を選ぶときに使います。
- ⑥色の変更を確定します。
- ⑦ 色パレット
- この中から色を選びます。
- ⑧ ポーズ設定をします。(P.96「縫製前に ポーズ位置を指定する」参照)
- ⑨ 押すと、この画面を閉じます。
- ⑩ パレット名



- 1番上に表示される部分の糸色が変更されます。
- 3 ▲ ▲ ▶ ▼ を押して、色パレットの中から新しい色を選びます。



- ① 大きく表示されている□が選ばれている
 色です。
 潤ケ がえの タグ タ がまことにます
- ② 選んだ色の色糸名が表示されます。
- 模様表示エリアの模様の変更した部分の色が 変わります。



刺しゅう模様を個別に編集する(編集画面

模様の選択/編集/記憶



刺しゅう模様全体を編集する(縫製設定画面)

縫製設定画面では、編集画面で組み合わせをしなかった場合は1つの模様に対して、組み合わせをした 場合は模様全体を1つの模様として編集します。

また矢印キーは、編集画面では模様を移動するために使いましたが、縫製設定画面では枠を移動するために使います。キーを押すと、枠が動きますので注意してください。



模様の選択/編集/記憶



| キーを押すごとに、変更後の大きさを示します。 ①② | 模様の色を変える |
|--|--|
| Image: State of the state | 模様の色を変えて、画面で確認することができます。 機能、操作のしかたは編集画面の配色キーと同じで す。 |
| ① 行間隔の長さ ② 列間隔の長さ ● 繰り返しを取り止めて元の状態に戻したい場合は、□ を押して□ にします。 ④ 必要に応じて、矢印キーを押して枠の位置を調整します。 操作のしかたは、P.76を参照してくださ | Image: State of the state |
| い。 5 必要に応じて、「」を押して縫製範囲の確認をします。 操作のしかたは、P.38を参照してください。 6 繰り返しを設定し終わったら、のKを押します。 | 糸色編集画面が表示されます。 第3mm 第3mm 第3mm 第3mm 第3mm 第3mm 第40 |
| | 2 色の変更のしかたは、P.131を参照して ください。 |
| 面に戻ると、繰り返しを設定する前の状態に戻りますが、その設定は解除されていません。再度縫製設定画面に進むと、繰り返しが設定された状態になります。ただし、編集画面でサイズを大きくしすぎて繰り返しの設定をすると縫製範囲からはみ出てしまうなど、エラー状態になってしまう場合は、次のエラーメッセージが表示されます。 | ・ ・ を知らせ ・ ・ ・ |
| 経製設定状態を初期化します。 | |

組み合わせの編集





模様の選択/編集/記憶



| 18 🔆 を押 | して、サイズを小さくします。 |
|--|--|
| 127mm ↔ 203mm | ‡ 0.0mm |
| od uck | |
| 19 サイズを小 編集画面に | さくしたら ок を押して、 涙ります。 |
| | 0.0mm 1.0.0mm 116.4mm 0.0 >35.0mm → 35.0mm → 77.2mm 0.0 Cod Luck |
| ● 続けて他 度 ^{どの模相} | の模様を修正したいときは、再 |
| ● 文字や全 を押し、 | :体が分かりにくいときは () 〔〕 を押して確認してくださ |
| い。 閉い す。 | を押すと、元の画面に戻りま |
| | ood Luck |

20 すべての編集が終わったら、 (編字) を押します。

| 自 証 新規 () → D 和 和 118mm | ‡ 0,0mm ‡1 ↔ -35,0mm ↔ | 16,4mm © 0° 77,2mm ⊜ 6 | QP |
|-------------------------|--|---|------------|
| | K 🛉 🗷 | 4 | 削除 |
| book | к К К К К К К К К К К К К К К К К К К К | 大きさ 回転 文字間 配列 | 15711 |
| Luck | | 色替入 糸密度 【 188 8 | (編集) 編集 |

▶ 縫製設定画面が表示されます。



模様の選択/編集/記憶



I kh DP

m---

776 KB

● 記憶した模様の呼び出しかたは、P.115 「ミシン に記憶した刺しゅう模様」を参照してください。



刺しゅう模様を記憶する



基本設定とヘルプ機能

P.27 で紹介したミシンの設定キー、使い方キー、ヘルプキーの使い方を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面で操作のしかたなどを調べたりします。

| 設定キーの使い方 | |
|--|--|
| 設定画面の見方 / 144 ブザー音を設定する / 146 長さの単位を切り替える / 147 糸色表示を切り替える / 149 ユーザーパレットを設定する / 151 小ピッチのステッチを削除する / 154 | 画面の明るさを調整する / 146 言語を切り替える / 147 ガイド表示を切り替える / 147 糸色の詳細を表示する / 150 渡り糸切り/ DST 設定 / 153 糸残り量を設定する / 154 |
| ミシンの使い方キーの使い方 | |
| ヘルプキーの使い方 | |

6



ОК

(f)

 設定し終わったら押します。設定を確定して、設 定キーを押す前の画面に戻ります。

(5)

- ② 模様表示エリアのガイド(刺しゅう枠の範囲、グ リッド、針位置)表示を設定できます。
- ③ ↓→→ は総針数を、↓→→ は前回のメンテナンス
 後に縫製した針数を示します。
- ④ Ⅰ→→ は総稼動時間を、Ⅰ→ は前回のメンテナ ンス後に稼動した時間を示します。

③、④は、定期的なお手入れやメンテナンスを受けられる際の目安として利用してください。

5 VERSION

ミシンにインストールされているプログラムの バージョンを示します。



●ご利用可能なアップデートについての詳細は、お 買い上げの販売店、またはブラザー工業のホーム ページ(http://www.brother.co.jp)でご確認 ください。

⑥ 糸色表示

色替表示と針棒の糸情報の糸色表示を、糸色名、 糸番号やぬい時間に変更できます。(P.149参 照)

ОК

⑦ 拡張糸色表示

ぬい順表示や針棒の色替表示に表示される糸色表 示を、専用色(ミシン内蔵の色パレットの色)で 表示するか、他社糸メーカーの糸色を含めた色や 刺しゅう PRO ver 5.0 で作ったオリジナル色 チャートを使った独自の色情報で表示するか、選 ぶことができます。 ONに設定した場合、糸色編集画面の色パレット を次の3つから選びます。(P.150参照)

- 標準パレット ユーザーパレット 1 ユーザーパレット 2
- ⑧ 渡り糸切り/DST 設定

渡り糸の糸切りする/しないを設定できます。タ ジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータを使う 場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りす る/しないを設定できます。(P.153参照)

⑨ 小ピッチ削除

小ピッチのステッチを削除するときの、ピッチの 長さを設定できます。(P.154参照)

⑩ 糸残り量の設定 糸切り後に針穴に残る(針穴から出ている)上糸 の長さを設定できます。(P.154 参照)



①糸こま固定

特定の針棒に任意の糸色を設定できます。ここで 設定された針棒は、解除するまで設定された糸色 が割り当てられます。設定のしかたは、P.100 「手動針棒設定」を参照してください。





12 ユーザーパレット

ここで、ユーザーパレットを作ります。ユーザー パレットの使い方は、P.151 「ユーザーパレット を設定する」を参照してください。

■ 5ページ



13 **画面の調整**

画面の濃度調整ができます。

- (14) ブザー ブザーの ON / OFF 切り替えができます。
- 15 単位

画面に表示される長さの単位を設定できます。

16 言語

言語の切り替えができます。指定した言語でキー やメッセージが表示されます。

次の項から、各設定の説明をします。設定をし終 わったら、 0K を押して、設定画面を開く前の画 面に戻ってください。



言語を切り替える

言語は、次の8ヶ国語から選ぶことができます。 日本語、THAI, ENGLISH, GERMAN, FRENCH, ITALIAN, DUTCH, SPANISH, PORTUGUESE 購入時は、「日本語」に設定されています。 設定画面の5ページで設定します。

▲ ▶ を押して、言語を選びます。

希望の言語を表示させます。



長さの単位を切り替える

長さの単位を、mm、inchから選ぶことができます。 購入時は、「mm」に設定されています。 設定画面の5ページで設定します。

🔹 🕨 を押して、単位を選びます。

希望の単位を表示させます。

● 画面の調整 ① 」) ブザー ON OFF ………… mm ● ▶ [[22 - + ①] □ 日本語 (JAPANESE) ● ▶ P. 5 OK ②

ガイド表示を切り替える

模様表示エリアのガイドは、刺しゅう枠の大きさ、 中心表示・グリッドの表示/非表示、カーソルの表 示/非表示をそれぞれ選んで設定します。 設定画面の1ページで設定します。



① **枠範囲**

模様選択画面、模様一覧画面、編集画面で、ガイ ドとして表示する刺しゅう枠の大きさを設定しま す。 実際にセットレアレス刺しゅう枠の大きさのガイ

実際にセットしている刺しゅう枠の大きさのガイ ドが表示されます。

② グリッド

中心表示・グリッドの表示/非表示を設定しま す。

③ 針位置

針位置の大きさと表示/非表示を設定します。

④ 設定するガイドがどのように表示されるか、ここで確認します。

■ 枠範囲

購入時は、「特大枠」に設定されています。

● を押して、刺しゅう枠を選びます。

希望の刺しゅう枠の縫製範囲を表示させ ます。



基本設定とヘルプ機能



| 中心表示・グリッ 中心表示は、赤色の グリッド間隔の実寸 購入時は、「中心表示 ・を押し の表示/非表示 希望の表示状態 | ド)+マークで表示され は、10mmです。 このみ」に設定されて て、中心表示・2 を選びます。 該を表示させます。 | ヽます。 ∑います。 ブリッド |
|---|---|------------------------------|
| 画面の表示 | 枠範囲 < ▶ グリッド < ▶ ま 針位置 < ▶ | V ⊢+→ V ⊢→ Version |
| 中心表示のみ | + | |
| グリッド表示のみ | | |
| 中心表示と グリッド表示 | + | |
| 非表示 | | |



基本設定とヘルプ機能 / 設定キーの使い方

| 糸番号 (Madeira Poly) | 1770 MA POLY | 糸色の詳細を表示する |
|---|--|--|
| | 1951 MA POLY 1637 MA POLY 1980 MA POLY | ぬい順表示や針棒の色替表示に表示される糸色表示 を、専用色で表示するか、その他の糸色情報も含め た色で表示するか、選ぶことができます。 ON : 刺しゅうPROの「ユーザーチャート」、ま たはミシンの各パレットで設定した糸色と & サーマまデオス |
| 糸番号 (Madeira Rayon) | 1369 MA RAYON 1137 MA RAYON | ※留ちてる小りる OFF:専用色(ミシン内蔵の色パレットの色)で 表示する |
| | 1037 MA RAYON 1068 MA RAYON | OFF に設定した場合の糸名・糸番号は、「糸色表示を切り替える」で設定した表示になります。 |
| 糸番号 (Sulky) | 1176 50LKY 1024 0 SULKY 1037 50LKY | ON に設定した場合は、糸色編集画面で表示する色 パレットを次の3つから選びます。 標準パレット ミシンが内蔵している色を表示します。 ユーザーパレット1 ミシンで設定したユーザーパレット1の色パ |
| 糸番号 | 1187 С зиску 29091 | レットを表示します。 ユーザーパレット2 ミシンで設定したユーザーパレット2の色パ |
| (Robison-Anton) | ■ RA ⁵⁶⁹⁴ RA ⁵⁶⁷⁸ RA ⁵⁸⁶⁰ RA ⁵⁸⁶⁰ RA | 色パレットと色表示についての詳細は、P.167を 参照してください。 購入時は、OFFに設定されています。 |
| 時間 | 0 MIN 56 SEC 4 MIN 39 SEC 1 MIN 45 SEC 1 MIN 52 SEC | |
| 。お知らせ | | |
| 通常、ぬい順表示や模様表示エリアは、専用色(ミシン内蔵の色パレッ示されます。ぬい順表示や色替表示その色に一番近い、ここで設定した番号が表示されます。したがって、とは多少色味が異なっていることた。 | の模様の糸色 トの色)で表 気の糸番号は、 ブランドの色 仕上がりの色 があります。 | |
| | | |

| 1 ^{IN off} (または ^{IN off}) を押して、設定し ます。 | ユーザーパレットを設定する |
|---|--|
| | 模様の色を変えるときなどに表示される色パレット を、好きな糸色やお手持ちのブランドの糸番号を組 み合わせて作った独自の色パレットにすることがで きます。2種類作ることができます。 |
| dst DST設定 図 - はす DST設定 図 - がビッチ 000 - 健準パレット ▼ ▶ 秋切の標準 ▼ | ■ ユーザーパレットを作る 設定画面の4ページで、パレットの□1つ1つ に、色と番号を指定します。 |
| ● 1 回押すごとに ON / OFF が切り替わり ます。 | 1 2 (または 1 2) を押して、設 定するパレットを選びます。 ユーザーパレット1は 1 2、ユーザー |
| 2 🔹 🕨 を押して、 色パレットを選びま | パレット2は 1 2 にします。 |
| す。 希望の色パレットを表示させます。 | → → → → ↓ → ↓ 1 2 MADEIRA |
| | |
| 標準バレット | |
| ● ユーザーパレットを作らないで ON にしたときは、色設定のされていない色パレットが表示されますので、ご注意ください。 | 2 バレットの□を選びます。 ▲ ● ● ▼ を押して、指定する□ を大きく表示させます。 ① |
| | □ □ </th |
| | ① 大きく表示されている□が選ばれている □です。 |
| | ▶ 矢印の方向に選ばれている□が動きます。 |
| | |
| | 151 |

基本設定とヘルプ機能設定キーの使い方



▶ 入力した数字が取り消されます。

セットを押します。



▶ 入力した色・数字が、手順 2 で選んだ□に 設定されます。

| 1 2 | MADEIRA | |
|-----|---|---------------------------|
| | 1021 1 2 3 4 5 6 7 8 9 6 0 typ | Р. 4 Р. 5 Ок |



▶ パレットからその色が削除され、空白の□に 戻ります。



- 6 手順 2 ~ 5 を繰り返して、他の□を設定します。
 - 設定されている□を選んで再設定をすると、前の設定は取り消され、新しい設定に書き換えられます。

■ 色パレットを切り替える

糸色の詳細を表示するを「ON」に設定し、色パ レットを選びます。P.150を参照してくださ い。

渡り糸切り/DST 設定

渡り糸の糸切りする/しないを設定できます。タジ マフォーマット(.dst)の刺しゅうデータを使う場合 は、ジャンプコード数の指定により糸切りする/し ないを設定できます。

ON:次のラインで指定された数に基づいて、 糸切りコードに変換する

OFF: 糸切りコードに変換しない

購入時は、ON、ジャンプコード回数3に設定され ています。

設定画面の2ページで設定します。



切る」参照) ● タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータ以 外のデータでは、ジャンプコード回数を指定する

ことはできません。



↓ ★切り標準

してください。

< | •

● 糸切り後の糸残りが短く、次にうまく縫えない場合は、「長い」に設定してください。
 ● 金糸、銀糸を使う場合は、「長い」に設定

P. 5

ΟK

ミシンの使い方キーの使い方 このミシンには、ミシンの基本操作など取扱説明書に準じた内容が記憶されています。 (ミシンの 使い方)キーを押して画面に表示される4つの項目を選ぶと、その内容を確認することができます。 ■ 各項目の内容 例)上糸の通し方を知りたいとき 各部の名前とはたらき ?Щ を押します。 Je sta 000 000 291 基本操作 ~ Ø F 000 トラブルチェック 0 mm 0 mm お手入れ V. 7 5 000 2+00 厪 閉じる AI В 基本操作 S 125 MILLER 各部の名称とはたらき ÷ a ↔ É トラブルチェック ₩ ₹ お手入れ ▶ ミシンの使い方画面が表示されます。 8 P 閉じる トラブルチェック 基本操作 を押します。 各部の名称とはたらき ミシンが動かない 針が折れる 上糸が切れる 下糸が切れる 基本操作 上糸のぬい目が浮く (ルービングの発生) ぬっているときの 音が高い ガタガタと音がする 刺しゅう模様が 000 ぬい目がとぶ 000 自動糸通しが 布に針による傷か 穴がある お手入れ 糸調子が合わない 基本操作 年にしわが寄っている (((000 液晶画面が見にくい トラブルチェック 閉じる お手入れ お手入れ 000 各部の名称とはたらき ¢ 01< 閉じる 基本操作 60) トラブルチェック ▶ 基本操作の一覧が表示されます。 閉じる を押します。 6 各部の トラフ đ S 上糸通しの手順が表示されます。

ミシンの使い方キーの使い方



- ② 押すと、動画を一時停止します。一時停止
 中は ▶ に変わります。▶ を押すと、一
 時停止を解除し続きの動画が表示されます。
- ③押すと、次のページの動画に飛びます。
- ④押すと、前のページの動画に飛びます。
- ⑤ 押すと、動画を中止しイラスト表示に戻ります。

う手順を確認し終わったら、 閉じる を押します。





 \triangleright



🛄 を押す前の状態に戻ります。

156

ヘルプキーの使い方

困ったときは 🗊 (ヘルプ)キーを押しましょう。操作のしかたやキーの機能を調べることができま す。



基本設定とヘルプ機能

ヘルプキーの使い方

P. 6 Ð

Ē

閉じる

付録

7

応用ぬいのテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れと困っ たときの対処方法などを紹介します。

| アップリケぬい | | 160 |
|---|--|-----|
| アップリケ模様のぬい方 / 160 枠模様を使ってアップリケをするには(枠模様を使ってアップリケをするには(| 1) / 161 2) / 162 | |
| PR-600II 豆知識 | | 164 |
| 内蔵模様で糸調子を確認する / 164 色パレットについて / 167 | 布地のラインに合せて模様をぬう / | 165 |
| タジマフォーマット(.dst)の刺しゅう | データの色について / 167 | |
| きれいな刺しゅうに仕上げるために | | 168 |
| 糸 / 168 枠張りのテクニック / 170 | 接着芯 / 169 布/接着芯の適合表 / 171 | |
| 工業用枠(別売)をセットするには | | 172 |
| 帽子枠(別売)を使う | | 173 |
| 帽子枠と付属品 / 173 布地に関する注意 / 174 帽子枠のセットのしかた / 180 刺しゅうデータ作成上の注意 / 186 | 帽子の種類 / 174 帽子枠を使うための準備 / 175 台枠の取り付け方 / 184 | |
| お手入れ | | 187 |
| 画面の汚れの掃除 / 187 釜の掃除 / 187 ボビンケースの掃除 / 189 | 本体表面の掃除 / 187 針板まわりの掃除 / 188 ミシンに注油する / 190 | |
| 困ったとき | | 193 |
| トラブルチェック機構 / 193 エラーメッセージ / 202 キーを押しても反応しないときは / 208 | トラブルチェック / 194 画面が見にくいときは / 208 8 | |
| 什様 | | 210 |
| 本体仕様 / 210 | | |
| 索引 | | 211 |

アップリケぬい

アップリケのぬい方を説明します。

アップリケ模様のぬい方

刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があります。色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、 以下の手順でアップリケをします。

> アップリケ ロビース >6 アップリケノ ロイチ

D ^{アップリケ}

たは<mark>食 *******</mark>のように表示されることがありま す。

 $0 - \frac{1}{3} \sqrt[9]{-2305}$

6

5

4

- <u>600</u> +

Umin 5min アップリケ ノ イチ

停止予約

Ê

1

2

3

縦製 キャンセル

■ アップリケの手順

© 1 68mm ↔ 61mm

- アップリケをしたい布地の裏側に、接着 芯を貼ります。
- そ期①のアップリケ布を刺しゅう枠に 張り、「アップリケピース」をぬいます。 アップリケピースの切り取り線をぬって ミシンは止まります。



3 刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。



- このときぬい目よりも内側を切ると、 アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに取り除いてください。
- アップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、 「アップリケノイチ」をぬいます。アップ リケの位置をぬって、ミシンは止まります。



5 切り取ったアップリケピースの裏側にの りまたは、スプレーのりを薄く付け、手 順 ④ の 「アップリケノイチ」 に合わせて 貼り付けます。



- ●可溶性の布を使いアップリケピースを土 台布に貼り付ける場合は、土台布を刺 しゅう枠から外さずにアイロンをかけて ください。
- 6 アップリケピースを貼り付けたら、「アッ プリケ」をぬいます。アップリケができ ます。



- 模様によっては、「アップリケ」が表示されないものがあります。この場合、「アップリケ」ぬいは、刺しゅうの1部分として 色糸で表示され、その色糸でぬわれます。
- 残りの刺しゅうをぬいます。





同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模 様を使って、アップリケをします。



直線ぬいの枠模様を選び、アップリケ布 に刺しゅうをします。ぬい目の外側をて いねいに切り取ります。







アップリケぬい

3 手順①で切り取ったアップリケ布の裏 側に薄くのりまたは、布用スプレーのり を付け、土台布のぬい目にあわせて貼り 付けます。



日じ形のサテンぬいの枠模様を選び、手順③の布に刺しゅうをするとアップリケができます。





① アップリケ





もう1つのアップリケの方法です。この方法では布 地は張り替える必要がありません。同じ形で同じ大 きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアッ プリケをします。







2 手順1 の刺しゅうの上にアップリケ布 を置きます。ことき、ぬい目がアップリ ケ布からはみ出ないようにしてください。





付録
PR-600II 豆知識

さらにこのミシンを使いこなしていただくための操作を紹介します。







色パレットについて

ミシン内蔵の色パレットとユーザーパレットについ て補足説明します。

通常、ぬい順表示の糸こまや色替表示の糸こま、模様表示エリアの模様の糸色は、専用色(ミシン内蔵の色パレットの色)で表示されます。そしてぬい順表示や色替表示の糸番号は、その色に一番近い、設定画面の2ページで設定したブランドの色番号が表示されています。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。

それに対し、設定画面の4ページで設定するユー ザーパレットは、ミシンに内蔵されている色ライブ ラリーから1色ずつブランド名とその糸番号で糸色 を指定してつくる色パレットですので、その糸色オ リジナルの色で表示されます。

ユーザーパレットを設定し、拡張糸色表示を選んで から、そのユーザーパレットを使って模様の色を変 更すると、より仕上がりに近い色で模様を確認でき ます。

お手持ちの糸色を登録し、是非、ご活用ください。 通常色替表示



ユーザーパレット使用時の色替表示





タジマフォーマット(.dst)には、模様の色情報が ありません。形だけの部分の集合で作られています。 例えば、次の刺しゅうデータは、



タジマフォーマット(.dst)では、



となっています。

そこで、模様の部分を分かりやすくするため、この ミシンでタジマフォーマットデータを扱うときは、 自動的に当社指定の糸色順で色がつけられ表示され ます。この糸色は、模様のデザインに関係なく、適 当な色が部分のぬい順に従ってつけられていますの で、例えば、果物のオレンジの色が青になっていた り、模様のデザインによっては違和感のある色付け になってしまうこともあります。

タジマフォーマットデータを扱うときは、画面上で でき上がりイメージを確認しながら、糸色編集画面 で色を変更してお使いください。

きれいな刺しゅうに仕上げるために

よりきれいな刺しゅうに仕上げるために、糸、刺しゅう枠、接着芯について、注意していただきたいこ とを説明します。

糸

刺しゅう糸は高価なものですので、取り扱いには万 全の注意を払ってください。どんなに良い糸でも、 きちんと縫製するためには正しく保管する必要があ ります。特に、糸がお客様のもとへ届いてから実際 にミシンでご使用になるまでの期間は注意してくだ さい。刺しゅう糸は、過度の熱や光、または湿気の ように、損傷を与えるようなものがない環境で保管 してください。

刺しゅう糸は、できるだけ清潔でほこりのない場所 に保管してください。また、煙や蒸気、ガスの出る 場所も避けてください。ガスヒーターのような家庭 用の器具、またはディーゼルエンジンから出るガス によって、糸が黄色くなることがあります。

直射日光は、刺しゅう糸にとって有害となります。 糸の入った箱は、開けたままにして直射日光にさら されないようにしてください。直射日光に長期間さ らしておくと、刺しゅう糸が色あせするおそれがあ ります。 温度や湿度もまた、刺しゅう糸にとって有害となる ことがあります。温度は15~25℃、湿度は40~ 60%が理想的な保存条件です。カビを防ぐために、 これらの条件をできるだけ一定に保つようにしてく ださい。高温すぎる場所に保存すると、糸が弱くな り最終的には糸が切れるおそれがあります。湿気が 多いと、糸の品質に悪影響を及ぼすことがあります。 確実に糸が痛まないよう保管するには、保存してい る未使用の糸を頻繁にチェックして、保存状態・条 件が良好かどうかを確認してください。

保存状態の良い糸を使用すると、制作時間を向上さ せることができます。(糸の強度、密度や重量は、縫 製のしやすさと縫製中の糸切れ回数、ならびに作品 の仕上がりにも影響します。)

糸切れの回数は、生産量に影響します。糸が切れて から通し直す時間が約20秒かかると仮定すると、糸 切れ1回につき1日(7.5時間)最低でも0.07% の生産減になります。1日につき糸切れ回数を14 回削減すると、生産を1%以上向上させることがで きます。

接着芯

接着芯は、刺しゅうする布を固定させるために使用 します。誤った種類の接着芯を使用すると、布が刺 しゅう枠内で動いてしまい、刺しゅうがずれるおそ れがあります。接着芯は、タオルやコーデュロイ、ピ ケニットのような毛羽のある布を刺しゅうするとき には、必ず使用してください。縫製する布の種類に 応じて、種類別の接着芯を使用します。

刺しゅうに使える接着芯は、切るタイプ、はがすタ イプ、溶けるタイプ、粘着タイプの4種類がありま す。この4種類は、それぞれ重さとサイズ、生地が 異なります。特定の布に使用する接着芯を選ぶとき は、デザインのぬい目数、ぬい方とサイズを考慮し てください。

また、接着芯が伸びないことを確認してください。 種類によっては、垂直方向や水平方向には伸びなく ても、対角線方向に伸びるものがあります。<u>このよ</u>うな種類の接着芯は使用しないでください。縫製中 に伸びて、デザインがずれることがあります。

ポリエステル製メッシュの切るタイプの接着芯: 接着芯がぬった表面に透けないため、薄い色の 布に使用します。仕上がったものを軽くてやわ らかいタッチで安定させたい場合、例えば、赤 ちゃんの衣服などにこの種類の接着芯が適して います。

2. 切るタイプの接着芯:

普通~重いニットに適しており、織物にも使用 できます。ぬい目数が多くても耐えることがで き、2~3枚重ねて使用することで、さらに膨大 なぬい目数にも耐えることができます。また、衣 服の内側を外側と同じように見栄え良くしたい 場合は、切るタイプの黒い接着芯が適していま す。黒い接着芯は、白い接着芯に比べて透けにく いため、あわい色や薄い色の衣服に使用するこ とをお勧めします。 3. 粘着タイプ(はがして貼る)の接着芯: 曲げにくい(固め)の布に使用します。この接着 芯は粘着面を上にして枠の下側に付け、縫製す る部分の外側の表面に布を接着できるようにし ます。刺しゅうが終わったら、布を外し余分な部 分は捨ててください。これを繰り返します。

4. はがすタイプの接着芯:

キャンバス地やポプリン、デニムのような普通 の重さの織物と、頑丈な布に使用します。この接 着芯は、2枚以上重ねて使用することで、多くの ぬい目数に耐えることができます。この種類の 接着芯は織り込まれていないので、縫製が終 わったあとに、刺しゅうデザインの端から簡単 にはがすことができます。はがすタイプの接着 芯にも黒色があります。

5. 水に溶けるタイプの接着芯:

タオルのような素材を刺しゅうするときに、毛 羽が縫製のじゃまにならないようにするために 使用します。毛羽のあるタイプで刺しゅうでき る布は、タオル地やコーデュロイ、ベルベット、 フェイクファー等があります。これらの布は、毛 羽の繊維が刺しゅうデザインのぬい目からはみ 出て、仕上がりが悪く見えることがあります。そ れを防ぐために、水に溶けるタイプの接着芯を 使うことによって、表のぬい目をきれいに仕上 げます。このタイプの接着芯は、レースや他のモ チーフを刺しゅうするときに、仕上がり部分の みの接着芯として使用することもできます。刺 しゅうが完成したあとに簡単に布からはがして 取ることができ、残った部分も水に溶かしてな くすことができます。

付

枠張りのテクニック

「よい仕事にはよい道具を使いなさい」というのは、 私たちが常に耳にする言葉です。これは、刺しゅう 業界にも言えることです。間違った種類の刺しゅう 枠を使用すると、縫製時にデザインが揃わなかった り、制作したものが完全に破損したりすることがあ ります。完璧なデザインでも、それに合うように設 計された枠のサイズや種類や手法を誤って使ったた めに、結果が台なしになることがあります。

■ 枠の基本

筒枠 - この種類の枠を使用すると、筒状の布や 筒状に縫製した衣類を刺しゅうすることができ ます。布の裏側まで糸を通すことなく、布の表面 に刺しゅうすることができます。

帽子枠 - これらは、帽子を固定するための特別 な刺しゅう枠です。帽子に刺しゅうする場合は、 この刺しゅう枠を使用してください。(P.173 参照)

刺しゅう枠と接着芯 - 刺しゅう枠に張った布と 接着芯は、完全に平らで、しわやすき間が入らな いように注意してください。しわやすき間を取 り除くときは、布と接着芯を一緒に伸ばしてく ださい。布と接着芯を伸ばすときに、強くひっぱ りすぎないよう注意してください。伸ばしすぎ ると、枠を取り外したときに、完成したデザイン にしわが入ることがあります。また、デザインと デザインの間に割れ目ができることがあります。

内枠と外枠の調節 - 外枠は調節ネジで調節する ことができます。布を張ったあと、内枠をはめた ときにたるみを感じたら、調節ネジを締めてく ださい。ただし、きつく締めすぎると布にしわが 入ったり、調節ネジのネジ山がすり減ったりす るおそれがありますので、注意してください。

布/接着芯の適合表

| 布/衣服 | 裏張りの枚数 | 表張りの枚数 | 詳細 |
|----------------|--|---------------------|--|
| タオル地 | はがすタイプ 1枚 | 水に溶ける タイプ 1枚 | 密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模様 や小さな文字は、毛羽の輪に引っ掛かりやすくなります。 |
| サテンのジャケット | 厚い裏地 なし 薄い裏地 または裏地 なし はがすタイプ 1枚 | なし | 布が枠の中で滑るとまっすぐぬえなくなりますので、マ スキングテープや布のバイアステープを内枠に巻いてく ださい。こうすると表面が粗くなり布をつかみやすく、 また、枠が焼けるのを最小限にすることもできます。 |
| 綿の敷布 | はがすタイプ 1枚 | なし | 密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張り を増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚で はなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。 |
| デニム | はがすタイプ 1枚 | なし | 針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度 を遅くしてください。 |
| 帽子 | 任意 | 任意 | バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすい ので、通常よりも頻繁に針を交換するようにしてくだ さい。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調 子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表 張りを使ってください。 |
| ドレスシャツ (織物) | はがすタイプ 1枚 | なし | 密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張り を増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚で はなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。 |
| ゴルフシャツ | 切るタイプ 1枚 | 任意 | 細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケ ニットには表張りを使用してください。 |
| カントンフリース | はがすタイプ 1枚 | 任意 | かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には 表張りを使用してください。 |
| キャンバス地 | はがすタイプ 1枚 | なし | 枠をきつく取り付けてください。 |
| コーデュロイ | はがすタイプ 1枚 | 水に溶ける タイプ 1 枚 | ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表 張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてく ださい。 |
| 肌着やシルク | はがすタイプ(軽) 1枚または2枚 | 任意 | 縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてくだ さい。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、 表張りを使用してください。織り目の細かい布には細 い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端 に狭い縦ぬいを避け、ぬい幅を広げるか、さやぬいを してください。布からやさしく裏張りと表張りを取り 除いてください。(無理に引きはがさないでください。) |
| ニット | 切るタイプまたは粘着性 のはがすタイプ 1枚 | 水に溶ける タイプ 1枚 | かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合った、織り目 の詰まったオーガンジーまたはカーテンの布を使ってください。 |
| スウェットシャツ | 切るタイプまたは粘着性 のはがすタイプ 1枚 | 任意 | 細かいデザインには切るタイプ(軽)の接着芯を2枚 重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの 付いた布には表張りを使ってください。 |
| Тシャツ | 切るタイプ(軽) または粘着性のは がすタイプ 1枚 | 任意 | 細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張り を使用してください。糸調子が弱すぎます。ぬい目の 密度が濃いデザインは避けてください。 |

付録

工業用枠(別売)をセットするには

工業用枠をセットするための台枠の準備を説明します。 工業用枠をセットするきとは、台枠の左右両方のアームを移動します。



帽子枠(別売)を使う

別売の帽子枠を使うと、帽子に刺しゅうをすることができます。帽子枠の使い方を説明します。

帽子枠と付属品

以下の帽子枠、帽子枠ドライバー、ゲージと付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや 破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



熍

帽子の種類

PR-600IIで刺しゅうする帽子は、次の種類の帽子をお勧めします。



| オットー社型番(例) | OTT027-007 | |
|--------------------------|------------|-------------|
| 裏側のメッシュの有無 (硬い/やわらかい) | あり 硬い | なし やわらかい |
| 張り方の難易度 | 容易(推奨) | やや容易 |
| 使用芯数 | 1~2枚 | 2~3枚 |



| | 0.1020220 | 011010200 |
|--------------------------|------------------------|-------------|
| 裏側のメッシュの有無 (硬い/やわらかい) | あり 硬い | なし やわらかい |
| 張り方の難易度 | 難しい 布地が硬く、 張りにくい | やや容易 |
| 使用芯数 | 1~2枚 | 2~3枚 |





| オットー社型番(例) | OTT037-024 |
|--------------------------|------------|
| 裏側のメッシュの有無 (硬い/やわらかい) | あり 硬い |
| 張り方の難易度 | やや容易 |
| 使用芯数 | 1~2枚 |



■ 刺しゅうできない帽子

- サンバイザーなど、帽子の正面の高さが50mm 以下の帽子
- ・ 子供用帽子
- ・ ヒサシの長さが 80mm より大きい帽子

布地に関する注意

■ 推奨布地

- ・ 木綿 35%、ポリエステル 65%
- ・ 木綿 100%
- ・ ウール 80%、ナイロン 20%
- · ウール 15%、アクリル 85%

■ 推奨できない布地

枠に張りにくく、しわや布縮みが起きやすく、柄が ずれやすい布地

- ・ ポリエステルフォーム
- ・ 伸び縮みのする布地
- ・ メルトンウール
- ・ ナイロン 100%
- ・ スエード



付鎾

Δ 帽子枠ドライバーの下のつまみボルト2 本が、キャリッジの切り欠きにはさみ込 まれるようにして、帽子枠ドライバーの 取付プレートをXキャリッジの上に重ね ます。



- ① キャリッジの切り欠き ② 帽子枠ドライバーのつまみボルト ③帽子枠ドライバーの取付プレート ④ X キャリッジ
- 5 X キャリッジのピンに、帽子枠ドライ バーの取付プレートの穴を差し込みます。



② 帽子枠ドライバーの取付プレートの穴

6 手順2 で外した2本のつまみボルトを

帽子枠ドライバーが奥までしっかり入る 7 ように押さえながら、下の2本のつまみ ボルトを締め、帽子枠ドライバーを固定 します。



▶ これで帽子枠ドライバーがセットできまし た。



① X キャリッジのピン



熕







このとき、帽子の中心線と帽子枠のアセ トリ留めの中心線を合わせながら、アセ トリをアセトリ留めの下側にもぐりこま せます。



- アセトリ留め
 アセトリ留めの中心線
- ③ 帽子の中心線

5



1 帽子の中心線
 2 ゲージの凹み

6 帽子のアセトリを帽子枠の切り欠き部の 内側に入れます。



① 帽子枠の切り欠き部

7 帽子のヒサシを、内側のフタ枠と外側の フタ枠の間に挟むようにして、フタ枠を 閉じます。



1) ヒサシ
 2) 内側のフタ枠
 3) 外側のフタ枠

8 フタ枠の歯と帽子のヒサシの付け根をきれいに合わせます。



フタ枠の歯
 ヒサシの付け根



13 ヒサシ押えをいっぱいまで持ち上げて、 ヒサシにかぶせます。ヒサシがヒサシ押 えにもぐり込んだら、ヒサシ押えを下げ ます。



- ① ヒサシ押え ② ヒサシ押えの中心線
- ヒサシ押えの中心線が見えるまで、ヒサ シ押えはしっかりと下げてください。





▶ これで帽子が帽子枠にセットできました。

帽子枠をゲージから取り外します。

図のように、ゲージの2つの留具を両手 の親指で押え、刺しゅう枠を引き抜きま す。



① 留具

■ 帽子枠をミシンにセットする

帽子枠をミシンにセットするには、帽子枠ドラ イバーが必要です。帽子枠をミシンにセットす る前に、キャリッジに帽子枠ドライバーを取り 付けてください。(P.175 「帽子枠ドライバーを 取り付ける | 参照)

帽子枠ドライバーに帽子枠をセットしま す。

> 帽子のヒサシがミシンに当たらないよう に、図のように縫製面を横にして入れま す。



● 帽子枠が押えなど周りの部品に当たらな いよう、注意してください。

刺しゅう面が上になるよう帽子枠を起こ した後、帽子枠ドライバーの輪と帽子枠 の輪を合わせます。左右にずらしながら、 帽子枠ドライバーの台形金具と帽子枠の 切り欠きを合わせ、帽子枠を押し込みま す。



- ①帽子枠ドライバーの台形金具 ② 帽子枠の切り欠き ③ 留具
 - ▶ 2 つの留具で帽子枠が固定され、帽子枠が セットできました。これで、刺しゅうをぬう ことができます。

付鎾

■ 帽子枠の外し方

ぬい上がったら、帽子枠を取り外し、帽子を外します。



図のように、帽子枠ベースの2つの留具 を両手の親指で押え、刺しゅう枠を引き 抜きます。



①留具

帽子のヒサシがミシンに当たらないよう に、図のように縫製面を横にして取り外 します。



- 帽子枠が押えなど周りの部品に当たらな いよう、注意してください。
- ヒサシ押えを外した後、帽子枠のパチン 錠を外し、最後にクリップを外して帽子 を外します。



① ヒサシ押え
 ② パチン錠
 ③ クリップ

台枠の取り付け方

帽子枠を使い終わったら、針板カバーと帽子枠ドラ イバーを外し、台枠を取り付けます。



① つまみボルト

3 上の2本のつまみボルトを外します。







お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の原因となる場合がありますので、いつも清潔にして おきましょう。



お手入れ

付鎾



ボビンケースの掃除 3 付属のミシンブラシで、移動刃、固定刃、 糸保持板の周囲糸くずやほこりを取り除 きます。 a 9 除してください。 名刺と同等の厚さの紙を用意します。 0 (1)① このまわりの糸くずを除去します。 掃除し終わったら、手順2と逆の手順で 針板を取り付けます。 き出します。 てゴミをかき出します。 SB Ð () **(1)**



Ì)

① 針板

ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸のワッ クスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原因とな ります。そのため、ボビンを交換するときは毎回掃

釜カバーを開け、ボビンケースを取り出 し、ボビンを取り出します。(P.20参照)

調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをか

糸穴の周辺は、紙の角でこするようにし



お手入れ





5 注油し終わったら、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P.25参照)



■ 針棒に注油する

縫製画面で、針棒を1本ずつ選び、ロック位置ま で下げます。(P.76参照)図のように、針棒の フェルト部に一滴注油してください。



① フェルト部



困ったとき



困ったとき

トラブルチェック

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に以下の項目を確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはお客様 Sew[#]談室(フリーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|---------|--|---|----------|
| ミシンが動かな | 電源が入っていない。 | 電源を入れます。 | P.26 |
| い | ミシンロックが解除されていない。 | ロック解除キーを押します。 | P.47 |
| | スタート/ストップスイッチを押し ていない。 | ロック解除状態でスタート/ストップ スイッチを押します。 | P.47 |
| 針が折れる | 針が正しく取り付けられていない。 | 針を正しく取り付けます。 | P.67 |
| | 針の止めネジがゆるんでいる。 | 針交換ドライバーを使って止めネジを しっかり締めます。 | P.67 |
| | 針が曲がっている。 針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | P.17, 67 |
| | 針板の穴の周辺に傷がある。 ① 傷 | 針板を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 針板の穴に針が接触している。 ① ① ① ① ① ① ① 針 ② ② (③ (③ (⑤ (⑤ (⑤ (⑤ (⑤ (⑥ (○ < | 針を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392) にご相談ください。 | |

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|-------|---|---|-------------|
| 針が折れる | 押えの穴の周辺に傷がある。 1 1 6 | 押えを交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 釜の糸すべり面に傷がある。 ①糸すべり面 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 釜が正しくセットされていない。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 釜止めが正しくついていないため、 内釜が回っている。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 上糸正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。 | 上糸を押えの下から手で引いて、ス ムーズに糸が出るか確認します。ス ムーズに糸が出ない場合は、糸が正し くかかっていません。上糸を正しくか け直します。糸が針棒糸案内にかかっ ていることを確認します。 | P.41~ 44 |
| | 上糸調子が強すぎる。 | 上糸調子を弱くします。 | P.90 |
| | このミシン専用のボビンを使用して いない。 | このミシン専用のボビンを使用しま す。 | P.17 |
| | 針と釜の出合が正しくない。 | 釜の調整が狂っています。お買い上げ の販売店、または お客様 Sew [™] 談室 フリーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。 | |
| | 針棒ケースにガタ(前後・左右)つ きがある。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 刺しゅうデータの糸密度が細かすぎ る。 3回以上の重ねぬいをしている。 | 当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PROなど)で、刺しゅうデータの糸密 度や重ねぬい設定を修正します。 | P.104 |

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|--------|--|---|----------|
| 上糸が切れる | 針が正しく取り付けられていない。 | 針を正しく取り付けます。 | P.67 |
| | 針の止めネジがゆるんでいる。 | 針交換ドライバーを使って止めネジを しっかり締めます。 | P.67 |
| | 針が曲がっている。 針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | P.17, 67 |
| | 針板の穴の周辺に傷がある。 ① ① ③ ① ⑤ | 針板を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 押えの穴の周辺に傷がある。 ① 傷 | 押えを交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 金属製の糸など、弱い糸を使用して いる。 | 縫製速度を遅くします。 | P.95 |

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|--------|--|--|---------------|
| 上糸が切れる | 釜の糸すべり面に傷がある。 ① 糸すべり面 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 糸がからまって、釜などに詰まって いる。 | からんだ糸を取り除きます。釜に詰 まっていた場合は、掃除します。 | P.187 |
| | 外釜と内釜の遊びが大きい。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 外釜がスムーズに回転していない。 | 糸くずを取り除いて掃除し、注油しま す。 | P.187, 190 |
| | 釜止めと釜のすき間調整ができてい ない。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 上糸が正しくかけられていない。 | 上糸を押えの下から手で引いて、ス ムーズに糸が出るか点検します。ス ムーズに糸が出ない場合は、糸が正し くかかっていません。上糸を正しくか け直します。糸が糸案内の正しい位置 を通っていることを確認します。 | P.41~ 44 |
| | 上糸が糸道上または糸道中の糸案内 を通っていない。 | 糸が正しく糸道上または糸道中の糸案 内を通っていることを確認します。 | P.42~43 |
| | 糸に結び目やこぶがある。 | その部分を取り除きます。 | |
| | 上糸調子が強すぎる。 | 上糸調子を弱くします。 | P.90 |
| | 下糸調子が適当でない。 ボビンケースから糸がスムースに出 ていない。 | 正しい下糸調子にします。 | P.89 |
| | ボビンケースに傷がある。 | 新しいボビンケースと交換します。 | P.17 |
| | 下糸が正しく巻かれていない。 | ボビンの径に対して80%の巻き量 で、糸が平均に巻かれているか点検し ます。正しく巻かれていない場合は、 正しく巻かれているボビンと交換する か、糸を巻き直します。 | P.17 |
| | このミシン専用のボビンを使用して いない。 | このミシン専用のボビンを使用しま す。 | P.17 |

困ったとき

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|-----------------|---|---|------------|
| 上糸が切れる | 自動針穴糸通し装置が破損している。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392) にご相談ください。 | |
| | 針に粘着剤などが付着している。 | 針を交換します。 | P.67 |
| | 布地の張りが弱い。 | たるみの無いようにしっかりと布地を 刺しゅう枠に張り直します。 | P.34, 71 |
| | 糸の品質が悪い。 | 撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の 良い糸と交換します。 | |
| | 刺しゅうデータにゼロステッチが含 まれている。 | ゼロステッチを削除します。 | P.154 |
| | 刺しゅうデータが非常に細かいぬい ピッチが連続して作られている。 | 小ピッチステッチを削除します。 | P.154 |
| | 刺しゅうデータの糸密度が細かすぎ る。 3回以上の重ねぬいをしている。 | 当社正規のデータ作成装置(刺しゅ PROなど)で、刺しゅうデータの糸密 度や重ねぬい設定を修正する。 | P.104 |
| 下糸が切れる | 下糸のセットのしかたがまちがって いる。 | 下糸を正しくセットします。 | P.25 |
| | ボビンに傷があり、回転がなめらか でない。 | ボビンを交換します。 | P.20 |
| | ボビンケースに傷がある。 | ボビンケースを交換します。 | P.20 |
| | 糸がからまっている。 | からんだ糸を取り除き、釜を掃除しま す。 | P.187 |
| | このミシン専用のボビンを使用して いない。 | このミシン専用のボビンを使用してく ださい。 | P.17 |
| ぬい目がとぶ | 上糸の通し方がまちがっている。 | 上糸を正しく通します。 | P.41 |
| | 針が曲がっている。 針先がつぶれている。 | 新しい針と交換します。 | P17, 67 |
| | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | P.67 |
| | 針板の下や釜にほこりなどがたまっ ている。 | 針板の下や釜を掃除します。 | P.187, 188 |
| | 針と釜の出合が正しくない。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 糸のねじれが強すぎる、またはゆる すぎる。 | ねじれが適切で いと、正しいループ の形ができません。新しい糸こまを使 用します。 | |
| 刺しゅう模様が くずれる | 糸がからまっている。 | 釜などにからんだ糸をピンセットなど で取り除きます。 | |
| | 刺しゅう枠に布地がきちんと張られ ていない。(布地の張り方がゆるいな ど) | 布地の張り方がゆるいと、模様くずれ やぬい縮みの原因となります。刺しゅ う枠に布地を正しく張ります。 | P.34, 71 |
| | 刺しゅうのサイズに対して大きい刺 しゅう枠を使用している。 | 刺しゅうの大きさに合った刺しゅう枠 を使用します。 | P.69 |

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|------------------------------|-----------------------------------|---|-------|
| 刺しゅう模様が くずれる | 接着芯を貼っていない。 | 特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い 布地、ぬい縮みしやすい布地には、必 ず刺しゅう用接着芯を貼ります。 <帽子枠使用時> やわらかい素材の帽子の場合は固めの 芯を使用します。 | P.70 |
| | 刺しゅう枠が正しくキャリッジに セットされていない。 | 刺しゅう枠を正しくキャリッジにセッ トします。台枠の左右のアームのピン が、刺しゅう枠の取付部の穴にきちん と入っているか確認します。 | P.36 |
| | キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置 いてある物に当たっている。 | キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつか ると模様くずれの原因となります。刺 しゅう枠が動く範囲には物を置かない ようにします。 | |
| | 布地がひっかかっている、またはは さみ込まれている。 | ミシンを止めて布地を正しい位置に直 します。 | |
| | 刺しゅう枠を取り外している途中で キャリッジが動いた。 | ぬっている途中で押えに物がぶつかっ たり、キャリッジが動いたりすると模 様くずれの原因となります。 ぬっている途中で刺しゅう枠を外した り、セットしたりするときには注意し てください。 キャリッジが動いてしまった場合は、 電源を入れ直します。ミシンを止めた ときの状態をミシンが記憶しており、 正しい位置に戻ります。 | |
| | デザインが正しく作成されていない。 | 伸縮性のある布や毛羽立った布を使用 するときと同様に、デザインを伸ばし て補正したり下張りを使用する必要が あります。 | |
| 上糸のぬい目が 浮く (ルーピング の発生) | 上糸調子が弱い。 | 押えの穴に上糸を通した後、手で糸を 引いて糸調子を確認します。迷う場合 は浮き目が発生していない他の針棒と 比較してみましょう。 | P.90 |
| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|--|--|---|----------|
| 上糸のぬい目が 浮く (ルーピング の発生) | 糸調子つまみの締め込み量に見合っ た糸調子になっていない。 | 糸調子が出ていない場合は、糸調子つ まみの前後にあるサブテンションの糸 調子皿に、糸のワックスやゴミが入っ て糸調子皿が浮いている場合がありま すので、掃除します。 | |
| | 糸の品質が悪い。 | 他の糸に替えてぬってみましょう。糸 を替えて問題がなければ、糸の品質に 原因あります。品質の良い糸と交換し ます。 | |
| ぬっているとき の音が高い | 釜の部分に糸くずが巻きこまれてい る。 | 釜の掃除をします。 | P.187 |
| カダカダと音か する | 上糸の通し方がまちがっている。 | 糸を通す順序を調べて通し直します。 | P.41 |
| | 釜に傷がある。 | 釜を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| | 注油が不足している。 | 注油します。 | P.190 |
| 自動糸通しがで きない | 針が正しい位置にない。 | 針棒移動キーを押して、糸通しをした い針棒を縫製位置に移動します。 | P.46 |
| | このミシン専用の針を使っていない。 | このミシン専用の針と交換します。 | P.17, 67 |
| | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | P.17,67 |
| | 自動針穴糸通し装置の糸通し用の フックが曲がっている。 | お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。 | |
| 糸調子が合わな い | 上糸の通し方がまちがっている。 | 上糸を通す順序を調べて通し直しま す。 | P.41 |
| | 下糸セットのしかたがまちがってい る。 | 下糸を正しくセットします。 | P.25 |
| | 下糸の糸調子が合っていない。 | 下糸の糸調子を調節します。 | P.89 |
| 刺しゅうを始め たとき、上糸が針 からはずれる | 糸切り後に針穴に残る上糸の長さが 短い。 | 設定画面の2ページで、糸切り後に残 る上糸の長さを「長い」に設定します。 | P.154 |
| 刺しゅうを始め たとき、上糸が下 糸に届かない | 下糸がない、ボビンから下糸が送ら れない、または送られた糸が短すぎ る。 | ボビンを正しくセットします。 | P.25 |
| 糸が切れていな いのに、糸切れエ ラーになりミシ ンが停止する | 回転調子皿にかかっている糸が外れ、 回転調子皿にある糸切れセンサーが 糸送りを感知できず、糸切れエラー が起きてミシンが停止した。 | 回転調子皿に正しく糸をかけます。 再度糸をかけ直しても糸切れエラー が起きる場合は、センサーが破損して いる可能性があります。お買い上げ の販売店、または お客様 Sew [#] 談室 (フリーダイヤル0120-332-392) にご連絡ください。 | P.43 |

| こんなとき | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|------------------|------------------|--|----------|
| 布に針による傷 か穴がある | 針がとがっていない。 | 針を交換します。 針がとがっていない と布を押し下げ、 布に傷がつきます。 | P.17, 67 |
| | 布が弱すぎる。 | 弱い布は、針が通るだけで破損するこ とがあります。 布の表面に接着芯を使 用します。 | P.171 |
| 布にしわが寄っ ている | 糸調子が強すぎる。 | 布の種類と使用する糸に応じて、糸調 子を調節します。特にポリエステル製 の糸は、糸調子を強くすると伸びやす くなります。縫製が終わると、糸が元 に戻りぬいしわの原因となります。 | P.89, 90 |
| | 枠の取り付け方が正しくない。 | 伸縮性のない織物などは、枠をきつめ に取り付けます。取り付け方が弱いと 布にこぶができることがあります。や わらかいニット地には、安定した裏張 りを使ってしっかりと伸ばし、枠を取 り付けます。布を伸ばしすぎると、枠 を外したときにしわが入ることがあり ます。 | P.171 |
| | 縦ぬいが長すぎる。 | 全体ぬい、または多数列の縦ぬいでデ ザインし直します。 | |
| | 針がとがっていない。 | 針を交換します。針がとがっていない と布を押し下げ、布に傷がつきます。 | P.17,67 |
| | デザインが細かすぎる。 | 特定部分のぬい目が多くなりすぎる と、布にしわが入ることがあります。5 ~10%程度ぬい目の数を減らします。 | |
| 液晶画面が見に くい | 液晶コントラストが合っていない。 | 画面の調整をします。 | P.146 |



付録

エラーメッセージ

ミシンが正しく準備できていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、Musa を押すか、正しい操作をしてから Musa を押すと消えます。エラーメッセージが再発する場合は、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#]談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。



| 日本または、下糸が切れていな いか確認してください。 | | <u>買</u> エリアオーバー |
|-------------------------------|--------------|---------------------|
| អ្ រីរ | | 閉じる |
| なよび キャン・エクト マクト マクト・ | +r / +r - +- | |

上糸が切れたり、糸が糸調子つまみ や糸案内から外れたりして、上糸が 正しく通っていない状態になった 糸が糸道上と糸道中の糸案内を 通っていることを確認し、上糸を 正しくかけ直します。(P.41参照)



セットしている刺しゅう枠が小さ U

使用可能な刺しゅう枠を確認し て、大きい枠をセットし直してく ださい。(P.34 参照)





差し込んだ USB メディアは使用 できない

USB メディアを交換してくださ い。

| エリアオーバー |
|---------------------------|
| |
| 閉じる |
| 模様が 200mm (H) × 300mm |

(W)の縫製範囲をはみ出している 模様を縫製範囲内に移動させてく ださい。

| { | |
|------------------------------|-----|
| <u>この刺しゅうカードは使用でき</u> ません | i |
| <u>& C70.</u> | |
| | |
| | 閉じる |

このミシンでは扱えない刺しゅう カードの模様を呼び出そうとした 著作権がある模様の刺しゅうカー ドの中には、扱えないものがあり ます。



刺しゅうデータを認識できない 刺しゅうデータが破損している可 能性があります。



使用できないバージョンの刺しゅ うデータを扱おうとした 刺しゅうデータが完全でなかった り、未知バージョンの刺しゅう データは使用できません。



模様を101 個以上組み合わせよ うとした 模様の組み合わせは 100 個まで です。



刺しゅうカードが差し込まれてい ない状態で、 🖘 を押した 刺しゅうカードを差し込んでくだ さい。(P.116参照)



最大縫製エリアからはみ出る文字 数を入力した

最大縫製エリア内に納まるよう、 入力する文字数を少なくしてくだ さい。



刺しゅうカードが破損している可 能性があります。

| によっていました。 指定の糸番号は登録されていました。 | 内 |
|--------------------------------|---|
| 閉じる | |

設定しようとした糸色番号が間 違っている

ユーザーパレット設定で糸色を設 定しようとして入力した番号の色 糸はありません。番号を確認して 再入力してください。



ミシンに記憶した模様が呼び出せ ない

内蔵メモリが破損している可能性 があります。お買い上げの販売 店、または お客様 Sew[#]談室(フ リーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。



自動針穴糸通し装置で糸を通している途中で、他の操作をした 糸通しボタンを押して糸通しを完 了してから、次の作業を行ってく ださい。(P.45参照)



針棒ケースが移動中に、停止した 聞☞を押すと、自動復帰します。



ミシンに模様を記憶できない 内蔵メモリが破損している可能性 があります。お買い上げの販売 店、または **お客様 Sew[™]談室**(フ リーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。



設定したぬい始め位置ではぬうこ とができない

ぬい始め位置を変更するか、枠を 移動して縫製位置を変更してくだ さい。(P.93参照)

| <u> </u> | |
|------------|-----|
| 内蔵メモリ消去エラー | |
| | |
| | |
| | 閉じる |

ミシンに記憶した模様が消去でき ない

内蔵メモリが破損している可能性 があります。お買い上げの販売 店、または お客様 Sew[#] 談室(フ リーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。

| <u> </u> | |
|----------|-------|
| 針穴糸通しエラー | |
| | |
| | |
| | |
| | 閉じる |
| | 13100 |

自動針穴糸通し装置が正常に動作 しなかった

自動針穴糸通し装置に糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、Macaを押します。

| <u> </u> | |
|-------------|-----|
| 針数が限度を超えます。 | |
| | |
| | |
| | 閉じる |

針数が多すぎて、扱えない 針数の制限(50万針)を超えて いるデータは表示できません。 データ作成装置で針数を減らして ください。

| <u> </u> | |
|----------------|----|
| 針棒ケースの位置が正しくあり | 0 |
| ません。 | |
| | |
| | |
| | |
| | 88 |

針棒ケース停止位置不良 ^{■∞●}を押すと、自動復帰します。



針棒ケースが開始位置に移動でき なかった ^{■□■}を押すと、自動復帰します。

| <u> </u> {···· | |
|--------------------|-----|
| 針棒ケースモータがロッ した。 | クしま |
| | |
| | |

針棒ケースモータロック聞いるを押すと、自動復帰します。



ビッカーに糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、 開いるを 押します。 町停止10直へ及 プーリーの印が真上にくるように 回してから、™∞を押します。 **文字数が多くて曲線の配列ができない** 文字数を少なくしてください。

<u>買</u>{…… 模様が大きすぎます。 閉uる

模様が大きすぎる

200mm (H) × 300mm (W) より大きい模様は扱えません。そ れ以下の大きさに縮小してくださ い。



セットされている刺しゅう枠の縫 製範囲より模様が大きい 模様より大きい縫製範囲の刺しゅ う枠に変えてください。

| <u> </u> {···· | |
|--|-----|
| 容量が足りません。 ミシン本体に記憶した模様を 消去してください | |
| ЛДОСТ/280. | |
| | 閉じる |

内蔵メモリがいっぱいで模様が記 憶できない

内蔵メモリに記憶されている模様 を消去してください。



USB メディアのメモリがいっぱ いで模様が記憶できない 模様を消去するか、USB メディ アを交換してください。



ワイパーに糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、 開いるを 押します。

付録 ——

次の画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[#] 談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。









付録

仕様

本体仕様

| 項目 | 仕様 |
|----------|-----------------------------|
| 製品質量 | 37kg |
| 本体寸法 | 幅 512mm ×高さ 586mm ×奥行 589mm |
| ぬい速度 | 最大/筒:毎分1000針、帽子:毎分600針 |
| | 速度/最大:毎分1000針、最小:毎分400針 |
| 釜型 | 垂直回転釜 |
| 釜寸法 | 標準サイズ |
| 針 | HA130EBBR / # 11 |
| 針数 | 6本 |
| 糸調子 | 手動 |
| 帽子ぬい | (別売り)ヨコ 130mm ×タテ 50mm |
| 筒ぬい | (4 種類のフレームが使用できます) |
| | ヨコ 300mm ×タテ 200mm |
| | ヨコ 180mm ×夕テ 130mm |
| | ヨコ 100mm ×夕テ 100mm |
| | ヨコ60mm×タテ40mm |
| 糸切り | あり/上糸・下糸 |
| 糸切れセンサー | あり/上糸・下糸 |
| 自動針穴糸通し | あり |
| パソコン通信 | USB ポート |
| 使用可能メディア | 刺しゅうカード、USB メディア |

索引

記号

| 6本針ミシン | vii |
|----------|-----|
| DST 設定 | |
| Τシャツ | |
| USB コネクタ | |
| USB メディア | |
| VERSION | |
| | |

ア

| アップリケアルファベット | 111 |
|--------------|-----|
| アップリケ模様 | 160 |
| アルファベット | 113 |

イ

| 一時的針棒設定キー | |
|-----------|---------------|
| 糸 | |
| 上糸 | |
| 針穴 | |
| 糸案内 | |
| 糸案内支持棒 | 2 |
| 糸案内ピン | 2 |
| 糸色 | 135, 167 |
| 糸色表示 | 144, 149 |
| 移動キー | |
| 糸替え表示 | |
| 糸切りスイッチ | |
| 糸こま | |
| 糸こま交換 | |
| 糸こま交換時間 | 61, 79 |
| 糸こま交換マーク | 61, 80 |
| 糸こま固定 | 145 |
| 糸立台 | |
| 糸調子 | |
| 糸調子ダイヤル | |
| 糸調子つまみ | |
| 糸残り量 | 144, 154 |
| 糸番号 | |
| 糸密度キー | |
| イメージキー3 | 3, 56, 58, 60 |
| 色替えキー | |
| 色替え数 | 56, 57, 59 |
| 色パレット | 150, 167 |
| | |

ウ

| 上糸 | |
|----------|---|
| 上糸案内 | 2 |
| 上糸をセットする | |

Т

| 液晶画面(タッチパネル) | .З, | 18 |
|--------------|-----|-----|
| エラーメッセージ | 2 | 202 |
| 選ぶ | | |
| 刺しゅう模様 | 1 | 06 |
| 編集する模様 | 1 | 24 |

オ

| 大きさ | |
|---------|-------------|
| 大きさ (縦) | |
| 大きさ (横) | |
| 大きさキー | 56, 58, 125 |
| お手入れ | |

カ

| 回転角度 回転キー 回転調子皿 ガイド表示 拡張糸色表示 | |
|--|---|
| 確認する | |
| 糸調子 仕上がりイメージ 針棒と糸色 | |
| 各部の名前とはたらき | |
| 釜カバー/釜 | 2 |
| 画面 | |
| 画面の明るさ | |
| 画面の濃さ | |
| 画面の調整 | |
| 換気口 | З |
| カントンフリース | |

+

| 記憶キー | 60, | 140, 142 |
|---------|-----|----------|
| 基本操作 | | |
| 基本手順 | | |
| キャリッジ | | 2 |
| キャンセルキー | | |
| キャンバス地 | | |
| 行間隔の長さ | | |

ク

ケ

| ゲージ | 178, | 179 |
|-----|------|-----|
| 言語 | 145, | 147 |

\square

| コーデュロイ | 171 |
|--------|-----|
| 交換する | |
| 糸こま | |
| 工業用枠 | 172 |
| 困ったとき | 193 |
| ゴルフシャツ | 171 |

サ

| 削除キー 58, | 113, | 116, | 122, | 132 |
|------------|------|--------|--------|-----|
| 削除する | | | | |
| 記憶した刺しゅう模様 | | . 116, | 122, | 140 |
| 小ピッチのステッチ | | | | 154 |
| 模様 | | | | 132 |
| サテンのジャケット | | | | 171 |
| 左右反転キー | | 56 | 8, 58, | 125 |

シ

| 刺しゅう位置76 |
|-------------------|
| 刺しゅうカード116 |
| 刺しゅうカード差し込み口3 |
| 刺しゅうする |
| 大きな布地や重い衣類 |
| 繰り返しぬい |
| 繰り返し模様134 |
| 小さい布地 |
| 布地の隅 |
| リボンテープ73 |
| 刺しゅうデータ104 |
| 刺しゅう用糸 |
| 刺しゅう枠 |
| 種類 |
| 外す |
| 張る34 |
| ミシンにセットする |
| 刺しゅう枠表示 |
| 下糸案内2 |
| 下糸巻き装置 5, 21 |
| 自動止めぬい |
| 自動針穴糸通しスイッチ 3, 45 |
| 終了キー |
| 手動針棒設定 100 |
| 仕様 |
| 使用可能枠表示 |
| 上下反転キー |
| 小ピッチ削除144, 154 |
| 新規作成キー |

ス

| スウェットシャツ | 171 |
|---------------|-----|
| スタート/ストップスイッチ | 47 |

セ

| 設置のしかた | 7 |
|--------|---|
| 接着芯 | |
| 設定キー | |
| セットキー | |
| 選択する | |
| 模様 | |

ソ

| 操作画面 |
|---------------|
| 操作パネル2 |
| 掃除する |
| 釜187 |
| 画面 187 |
| 針板まわり |
| ボビンケース189 |
| 本体表面 187 |
| 装飾アルファベット 109 |

タ

| 台枠 | | |
|-----------|------|-------|
| 取り付ける | | 184 |
| 外す | | 175 |
| タオル地 | | 171 |
| タジマフォーマット | 105, | 167 |
| ためしキー | 38 | 8, 60 |
| 单位 | 145, | 147 |

チ

| 中心からの距離(縦) | 57, 59 |
|------------|--------|
| 中心からの距離(横) | 57, 59 |
| 中心表示 | |
| 注油する | |
| 調整する | |
| 糸調子 | |
| 角度 | 77 |
| 画面 | |
| 画面の明るさ | |
| 刺しゅう位置 | |
| 操作パネル | |
| 調節する | |
| 脚 | 9 |
| | |

ッ

| 追加キー | 3 |
|-----------|---|
| 次のページへキー5 | 6 |

テ

| 62, 96, 98 |
|------------|
| |
| |
| З |
| 3, 26, 52 |
| |
| |

ト

| 特長 | vii |
|------------|-------|
| 止めぬいキー |), 92 |
| トラブルチェック | 155 |
| ドレスシャツ(織物) | 171 |

ナ

| 中糸案内 | |
|--------------|--------|
| - T-VICARI J | ······ |

=

| ニット | |
|-----|--|

ヌ

| ぬい順数 | | 61 |
|----------------|-----|----|
| ぬい順表示 | | 61 |
| ぬい始め/終わり位置設定キー | 60, | 93 |
| ぬい目戻る/進むキー | 85, | 87 |
| 布地 | 18, | 73 |

Л

| 配色キー | . 58, | 60, | 96, | 131, | 135 |
|------------|-------|-----|-----|------|------|
| 配列キー | | | 58, | 115, | 127 |
| パソコン (USB) | | | | | 118 |
| 肌着やシルク | | | | | 171 |
| 花アルファベット | | | | | 110 |
| 針 | | | | | 17 |
| 交換する | | | | | 67 |
| 針板 | | | | | 188 |
| 針位置 | | | | | 149 |
| 針数 | | | | | 61 |
| 針棒 | | | | | 46 |
| 針棒キー | | | | 40 | , 61 |
| 針棒ケース | | | | | 2 |
| 針棒番号 | | | | | 61 |
| 針棒をロックする | | | | | 76 |
| 針もとライト | | | | | 2 |

フ

| プーリー | | З |
|------|------|-----|
| ブザー | 145, | 146 |
| 付属品 | | 4 |
| 部分表示 | | 61 |

^

| ページ |
|---------------|
| 別売オプション |
| ヘルプキー54, 157 |
| 変更する |
| 糸密度 129 |
| 大きさ 114, 125 |
| 文字間隔 128 |
| 文字の配列 127 |
| 模様の色 131, 135 |
| 編集 |
| 編集画面 |
| 編集キー |
| 編集終了キー 31,58 |
| 編集する 123, 133 |
| 組み合わせ 136 |

ホ

| 帽子 | |
|------------|-------------|
| 帽子枠 | |
| 帽子枠ドライバー | |
| 縫製画面 | |
| 縫製キー | |
| 縫製キャンセルキー | |
| 縫製最高速度設定キー | 60, 61, 95 |
| 縫製時間 | 61 |
| 縫製設定画面 | |
| 縫製速度 | |
| ボビン | |
| ボビンケース | 25, 89, 189 |
| | |

マ

| 前のページへキー | | 56 |
|----------|--|----|
|----------|--|----|

=

| この使いナキ | | 165 |
|----------|---------|-----|
| シノの使い方十一 | 54, | 100 |

Х

| 綿の敷布 | 171 |
|------|---------|

Ŧ

| 文字間キー | 58, 128 |
|---------|-----------|
| 模様一覧画面 | 29, 56 |
| 模様キー | |
| 模様選択画面 | 29, 55 |
| 模様選択キー | . 58, 124 |
| 模様表示エリア | 54 |

ユ

ユーザーパレット......145, 151

付録

Ξ

| — |
|-----------------------|
| 呼び出す 記憶した刺しゅう模様115 |
| レ |
| 列間隔の長さ135 レベル座2 |
| |

_

ワ

| 6 |
|---|
| 2 |
| З |
| 8 |
| |

brother

116-T04 XD1139-051 0604 Printed in Taiwan